学校コード F125310107333 注3

設置年度 平成 31年度

計画の区分: 学部の学科の設置

注1



注2

長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 メディカルバイオサイエンス学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人関西文理総合学園 令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

 戦名・氏名
 ジムキョクチョウ オクムラ タダカズ

 事務局長 奥村 忠一

電話番号 0749-64-8100

(夜間) 0749-64-8100

e — mail t_okumura@nagahama-i-bio.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) OO大学 $\triangle \triangle$ 学部 $\Box \Box$ 学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

• 学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

大学院設置の場合:「○○大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

• 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、 当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

バイオサイエンス学部

<>	〈ディカルバイオサイエンス学科>	^ °−	・ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	3
2.	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	7
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	23
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	24
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	25
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	43
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	44

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 関西文理総合学園

- (2) 大 学 名 長浜バイオ大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1266番地

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変 更 状 況	備考
理事長	(ワカバヤシ ヒロフミ) 若林 浩文 (平成29年12月)	(ワカバヤシ ヒロフミ) 若林 浩文 (令和2年12月)	理事長任期満了に伴う重任 令和2年12月19日 (3)
学長	(サイ コウショク) 蔡 晃植 (平成29年4月)	(サイ コウショク)蔡 晃植(令和3年4月)	学長任期満了に伴う再任 令和3年4月1日 (3)
学 部 長	(カワイ ヤスシ) 河合 靖 (平成31年4月)	(カワイ ヤスシ) 河合 靖 (令和3年4月)	学部長任期満了に伴う再任 令和3年4月1日 (3)
学科長等	(ナガタ ヒロシ) 永田 宏 (平成31年4月)	(カメムラ カズオ) 亀村 和生 (令和3年4月)	学科長任期満了に伴う就任 令和3年4月1日(3)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和3年度に報告済の内容 → (3) 令和4年度に報告する内容 → (4)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、 別ファイルにて提出してください</u>(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)を 確認してください)。
 - ・ <u>様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが</u>、 完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

名称(字位)	調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
パイオサイエンス学部	名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	/#E ⁷ 7
字科 埋字関係 4 70 学士 (バイオサイエンス) 年 人 人	メディカルハ・イオサイエンス 学科 学士	理学関係	4	70	年次	280		

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択すると ともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

	対象年度	平成	3 (0 年度	F	令和え	元年度	令和:	2 年度	令和;	3 年度	令和4	4 年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備	考
区分	3	春季入	学	その他の	ž期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	1/#1	75
)			\	70人 7	0人 0		'0		'0		'0				
Α	入学定員	()		(-	-)	(-	_)	(-	_)	(-	_)				
		L				L -	-]	L -	_ 」	L -	_ 」	L -	_ 」				
_						713	_	687		563		408					
,	志願者数	(()	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
		L .	1	L	J	[6]	[-]	[10]		[6]		[0]					
	受験者数	,		,	,	697	_	668	_	531	_	380	_				
1	文款有数	Γ .	1	Г	7	(—) [6]	(-)	(—) [10]	(-)	(—) [5]	(-)	(-)	(-)	0.83倍	-倍		
		L .	1	<u>L</u>	J	444	[-]	532		438		326					
	合格者数	,		,	١	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
'	口怕白奴	Γ .	íl	Γ	1	[5]	(-)	[8]	[(–)	[5]	[(-)	[0]	[(-)				
		L .	+	L	J	79		73		50		31					
В	入学者数	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
		Ì.	íl	Ì	í	ſ 5 Î	ſ` _ ´1	ſ 6 Î	[`_ ´ı	[3]	[`_ ´ı	ſ o î	[`_ ´ı				
入学	学定員超過率 B/A		-	-	_		12		04		71		44				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ ()内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出** してください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、 報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成 3	0 年度	令和克	元年度	令和 2	2年度	令和3	3年度	令和 4	4年度		 備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	1	1 / 用	5
				76	_	70	_	55	_	32	_			
	1 年次			[5]	[-]	[6]	[-]	[3]	[-]	[0]	[-]			
				(-)	(-)	(-)	(-)	(5)	(-)	(1)	(-)			
						73	_	66	_	58	_			
	2 年次					[5]	[-]	[6]	[-]	[3]	[-]			
						(-)	(-)	(6)	(-)	(9)	(-)			
								67	_	62	_			
	3 年次							[5]	[-]		[-]			
								(-)	(-)	(4)	(-)			
										67	_			
	4 年次									[5]	[-]			
		_						_		(-)	(-)			
					6		13		38		19			
	計	[]	[;		[1		[1			4]			
		()	(-	-)	(1	1)	(1	1)	(1	4)			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	在学者数(b)	退学老数(a)	_	内訳	-t- 10	主な退学理由
対象年度	在于有数(b)	应于日 奴 (a)	入学した年度	退字	者数	(留学生の理由は[]書き)
122					うち留学生数	
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	79 人	3 人	平成30年度	人	人	
7 和儿牛皮	79 人	3 人	令和元年度	3 人	0 人	他の教育機関への転学(2名)、家庭事情(1名)
			平成30年度	人	人	
令和2年度	149 人	6 人	令和元年度	2 人	0 人	他の教育機関への転学(1名)、就学意欲の低下(1名)
			令和2年度	4 人	0 人	他の教育機関への転学(2名)、就職(1名)、転学科(1名)
			平成30年度	人	人	
令和3年度	193 人	5 人	令和元年度	1 人	0 人	家庭事情(1名)
			令和2年度	4 人	0 人	他の教育機関への転学(1名)、家庭事情(1名)、就職(1 名)、就学意欲の低下(1名)
			令和3年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和4年度	219 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合 計		14 人		14 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	_ =	0	=	#DIV/0!	%
【令和元年度】					
<u>令和元年度の退学者数(a)</u> 令和元年度の在学者数(b)	_ =	3 79	=	3.79	%
【令和2年度】					
令和2年度の退学者数(a) 令和2年度の在学者数(b)	_ =	6 149	=	4.02	%
【令和3年度】					
令和3年度の退学者数(a) 令和3年度の在学者数(b)	- =	5 193	=	2.59	%
【令和4年度】					
令和4年度の退学者数(a) 令和4年度の在学者数(b)	_ =	<u>0</u> 219	=	0	%

(注) · 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

< バイオサイエンス学部 メディカルバイオサイエンス学科>

(1) 一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

専任教員等の配置 単位数 任 科目 区分 11当年次 授業科目の名称 講 教 兼扣 兼4 -般英語 I 一般英語 Ⅱ 1後 2 兼4 科学英語 I 2前 2 兼4 科学英語 Ⅱ 2後 #4 科学英語Ⅲ 兼1 科学英語IV 2 兼1 英語多読 I 2 兼1 英語多読 Ⅱ 2 兼1 英会話 I 2 兼1 英会話 I 2 語 兼1 TOEIC講座 I 2 兼1 学 TOEIC講座 II 2 兼1 系 英文法 I 1 兼1 英文法 Ⅱ 1 兼1 海外英語研修 兼1 小計(15科目) 8 18 1 0 0 0 0 兼7 言語表現 I 1前 2 兼2 言語表現Ⅱ 1後 兼2 日本語 I (留学生) 1前 1 兼1 日本語 II (留学生) 1後 1 兼1 小計(4科目) 4 2 0 0 0 0 0 兼2 科学技術論 兼1 1前 2 データサイエンス入門 1前 兼1 2 健康保健学 1前 2 兼1 社会学 1前 2 兼1 学 現代の政治と社会 2 兼1 1前 部 哲学 1前 2 兼1 共 世界史 1前 兼1 2 通 教 心理学 1前 2 兼1 経済学 1後 2 兼1 法学(日本国憲法) 1後 2 兼1 データ解析学 2前 2 兼1 文学 2前 2 兼1 日本の歴史と文化 2前 兼1 2 おうみ学生未来塾 2後 2 兼2 2後 近江の文化と歴史 2 兼1 小計(15科目) 2 28 0 0 0 0 0 0 兼16 大学での学びと実践方法 I 1前 2 大学での学びと実践方法 I 1後 兼1 社風発見インターンシップ 1後 兼1 1 リ 長浜魅力づくりプロジェクト 2通 兼1 2 ァ 教 バイオビジネス概論 2前 2 兼2 化学工学基礎 2後 2 1 系 マーケティング戦略の立案 2後 1 兼1 工学デザイン概論 2前 2 1 ビ 社会との関わりとキャリアバス 3前 2 兼1 ジ ネ 生物工学システム 3前 2 兼1 1 ス インターンシップ実習 3後 1 兼1 教 バイオ産業論 3後 2 兼1 育 系 小計(12科目) 4 16 1 3 0 0

【令和4年度】

日本語 日本				配	Ì	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
一般英語			授業科目の名称		必	選	自	教		講	助	助	-
一般			10.22		_	択	由	授	授	師	教	手	
科学英語 I 2倍 2 2 2 2 3 1 3 1									-	_			
科学英語 I 2後 2 2 0 0 1									_				
科学英語III 3-48 2 2 0 0 1									_	_			
英語多読 I 1-2m 2 2 0 1 0 1 m					_	2			Ŭ	_			
英語多読 I			科学英語IV	3・4後		2							兼1
英会話 I			英語多読 I	1・2前		2			0	1			兼0
語			英語多読 Ⅱ	1・2後		2			0	1			兼0
TOEIC講座 I			英会話 I	2・3・4期		2							兼1
		語		2 - 3 - 4%									
		学	1										
英文法II 1 1 0 1 兼1 海外英語研修 1 1 0 1 0 0 第2 言語表現I 1的 2 東1 東2 東1 東2 東3 1 東2 東3 1 東2 東3 1 東3 東3 <td< td=""><td></td><td>系</td><td>· ·</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>		系	· ·										
# 神外英語研修													
小計 (15科目) - 8 18 1 0 0 1 0 0 兼5 兼2 書語表現 I 1前 2 第						T	1		•				
言語表現 I 1前 2				2 · 3 · 4/6	0	10		_			0	_	_
言語表現 日本語				- 1前		10	Т	U	U	1	U	U	
日本語 I(留学生) 1前													
日本語 II (留学生) 1後					_	1							
小計 (4科目)						_							
科学技術論				112	1		0	0	Λ	0	0	0	7114-
学部 共通				1 前	7		U	U	U	U	U	U	
世界保健学 1前 2					2	2		2	4				
世界史 1前 2						2		3	1				
学部 共 現代の政治と社会 1前 2													
部 共	学												
共通 世界史 1前 2	-												
通 教 心理学 1前 2													
議		≠ /h											
 系 法学(日本国憲法) 1後 2 第1 第2 第1 第2 第1 第1	A.E.												
データ解析学 2前 2													
文学 2前 2 兼1 日本の歴史と文化 2前 2 まれ おうみ学生未来整 2後 2 まれ 近江の文化と歴史 2後 2 まれ 大学での学びと実践方法II 1前 2 1 0 0 **8 大学での学びと実践方法II 1後 1 1 **8 **0 リカステンシップ 1後 1 1 **0 **0 **8 大学での学びと実践方法II 1後 2 1 **0 **8 **8 大学での学びと実践方法II 1後 2 1 **0 **8 **8 **0 サ 社場県外のイスインターンシップ 実置 2値 2 1 **0 **0 ***1 本のインインターンシップ実置 3後 1 1 **0 **2 ***2 本のイティンの時間の立案 2 1 **0 **0 **0 **1 エーンディンの時間の立案 2 1 **0 **1 **2 **0 本会の際のの主案 2 1 **0 **1 **1 **2 **2 **2 **2 **1 **2 **2 <td></td> <td>糸</td> <td></td>		糸											
日本の歴史と文化 2前 2 1 兼1													
おうみ学生未来塾 2後 2 1 兼1 兼1 兼1 兼1													
近江の文化と歴史 2後 2 兼1 兼1													
1通 2								1					
- 2 30 0 4 1 0 0 0 兼17 ***********************************			近江の文化と歴史			_							
				1通		_							兼1
キャヤヤ 大学での学びと実践方法Ⅲ 1後 2 1 兼0 リ 出風発見インターンシップ 1後 1 1 兼0 寮 長規勉力づくりプロジェクト 2通 2 1 兼0 教 パイオビジネス概論 2前 2 2 兼0 育 化学工学基礎 2後 2 1 東0 不 工学デザイン概論 2 1 東0 ご 大学デザイン概論 2前 2 1 東0 ご 大学デザイン概論 2 1 東0 東1 ご 大学デザイン概論 2 1 東1 ス インターンシップ実習 3後 1 東1 ス インターンシップ実習 3後 2 1 東1 ボイオ産業論 3後 2 2 東2						30	0	4	1	0	0	0	兼17
# 大学での学びと実践方法 I 1後 2		+	大学での学びと実践方法 I						0		3		兼8
ア 表			大学での学びと実践方法Ⅱ	1後	2			1					
教 バイオビジネス概論 2前 2 兼0 育 化学工学基礎 2後 1 系 マーケティング戦略の立案 2後 1 第0 工学デザイン概論 2前 1 第0 ジ 社会との限りのとキャリアバス 3前 2 1 ネ 生物工学システム 3前 2 1 第1 ス インターンシップ実習 3後 1 第1 バイオ産業論 3後 2 0 第1 系 3後 1 2 第2		リ	社風発見インターンシップ	1後		1		1					兼0
育 化学工学基礎 2後 2 1 1		ア	長浜魅力づくりプロジェクト	2通		2		1					兼0
ボーナーチェル			バイオビジネス概論	2前		2		2					兼0
マーケティング戦略の立案 2後 1 1			化学工学基礎	2後		2		1					
ビ 工学デザイン概論 2前 1 ジ 社会との間かりとキャリアバス 3前 2 1 ネ 生物工学システム 3前 2 1 兼1 ス インターンシップ実習 3後 1 東1 バイオ産業論 3後 2 0 東1 系 3後 1 2 東2			マーケティング戦略の立案	2後		1		1					兼0
ネ 生物工学システム 3前 2 1 兼1 ス オンターンシップ実習 3後 1 兼1 教 バイオ産業論 3後 2 0 兼1 系 3後 1 2 兼2			工学デザイン概論	2前		2		1					
ス インターンシップ実習 3後 1 兼1 教育 3後 2 0 兼1 系 3後 1 2 兼2			社会との関わりとキャリアバス	3前		2		1					兼0
教 育 系 パイオ産業論 3後 2 0 兼1 3後 1 2 兼2		ネ	生物工学システム	3前		2			1				兼1
育 系 3後 1 2 ※ 2			インターンシップ実習	3後			1						兼1
系 3後 1 2 兼2			バイオ産業論	3後		2		0					兼1
				3後		1			2				兼2
		/K	小計(12科目)	-	4	17	1	3	2	0	3	0	兼10

40	_		配业	į	单位数	女	専	任教	[員等	の配	置	兼任
科 区:		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			次	修	択	由	授	投授	師	教	手	担
		数理科学 I	1前	2								兼1
		数理科学 Ⅱ	1後		2							兼2
	数	数理科学Ⅲ	1後		2							兼1
	理	数理科学Ⅳ	2前		2							兼1
	科	数理科学V	2後		2							兼1
	学	線形代数学	1前		2							兼1
	系	数学基礎演習 I (基礎解析)	1前		1							兼2
	/K	数学基礎演習 Ⅱ (微分積分)	1後		1							兼1
		解析学	2後		2							兼1
		小計(9科目)	ı	2	14	0	0	0	0	0	0	兼6
		化学基礎	1前	2				2				兼4
		エッセンシャル生化学 I	1前	2				1				
	物	エッセンシャル生化学 I	1後	2				1				
	質	エッセンシャル化学 I	1後	2				1				兼2
	科	エッセンシャル化学Ⅱ	2前		2							兼2
	学	安全学	2前		2							兼1
	系	機器分析概論	2前		2							兼2
		有機化学	2後		2							兼1
		小計(8科目)	-	8	8	0	0	4	0	0	0	兼6
		コンピュータ基礎実習	1前		1							兼1
	情	コンピュータ応用実習	1後	1				1				兼5
	報	生命情報科学概論	2前		2							兼2
	系	生命情報科学実習	2前		1			1				兼3
224		小計(4科目)	-	1	4	0	0	1	0	0	0	兼6
学		エッセンシャル生物学 I	1前	2			1					
部		生物学基礎	1前		2			1				
共		基礎微生物学	1前		2							兼2
通	生	エッセンシャル動物科学	1前		2							兼7
	命	エッセンシャル生物学Ⅱ	1後	2								兼1
	科	遺伝子工学	1後	2								兼1
	学	植物科学概論	1後		2							兼1
	系	多様性生物学概論	1後		2							兼1
		遺伝学概論	2前	2								兼3
		生命倫理・研究倫理	2前	2								兼5
		小計(10科目)	-	10	10	0	1	1	0	0	0	兼13
		自然科学基礎実験 I	1前	3			2	1		1		兼5
		自然科学基礎実験Ⅱ	1後				2	1		1		兼5
		応用実験 I (物質系)	2前				1					兼1
		応用実験 I (DNA系)	2前									兼1
		応用実験 I (タンパク質系)	2前				1					兼1
	実	応用実験 I (微生物系)	2前				1					
	験	応用実験 I (動植物系)	2前					1				兼2
	系	応用実験Ⅱ (物質系)	2後				1	_				兼1
		応用実験II(DNA系)	2後									兼1
		応用実験Ⅱ(タンパク質系)	2後				1			1		/ -
		応用実験 II (動植物系)	2後				1			1		兼2
		応用実験 I (情報系)	2後	1			1	1				兼2
		小計(12科目)	-	18	0	0	3	3	0	1	0	兼9
	教 自		1前	۳		1	1		Ť	-	Ť	
	育立	バイオ宝絵夢チャレンジⅡ	1後			1	1					兼2
	系 的	小計(2科目)	-	0	0	2	1	0	0	0	0	兼2
	<u> </u>	3 01 (4:17 ¹²)		Ľ	J	_		J	J	J	J	7K4

	_		西	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区	目 分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		数理科学 I	1前	2								兼1
		数理科学 Ⅱ	1後		2							兼2
	数	数理科学Ⅲ	1後		2							兼1
	理	数理科学IV	2前		2							兼1
	科	数理科学V	2後		2							兼1
	学	線形代数学	1前		2							兼1
	系	数学基礎演習 I (基礎解析)	1前		1							兼2
	/ (数学基礎演習 Ⅱ (微分積分)	1後		1							兼1
		解析学	2後		2							兼1
		小計(9科目)	1	2	14	0	0	0	0	0	0	兼6
		化学基礎	1前	2			2	0				兼4
		エッセンシャル生化学 I	1前	2			1	0				
	物	エッセンシャル生化学Ⅱ	1後	2				2				
	質	エッセンシャル化学 I	1後	2			1	0				兼2
	科	エッセンシャル化学Ⅱ	2前		2							兼2
	学	安全学	2前		2							兼1
	系	機器分析概論	2前		2							兼2
		有機化学	2後		2							兼1
		小計(8科目)	-	8	8	0	3	2	0	0	0	兼6
		コンピュータ基礎実習	1前		1		1			1		兼1
	情	コンピュータ応用実習	1後	1				0		1		兼4
	報	生命情報科学概論	2前		2							兼2
	系	生命情報科学実習	2前		1			0				兼2
		小計(4科目)	-	1	4	0	1	0	0	1	0	兼5
学		エッセンシャル生物学 I	1前	2			1					
部		生物学基礎	1前		2			1				
共		基礎微生物学	1前		2							兼1
通	生	エッセンシャル動物科学	1前		2							兼8
	命	エッセンシャル生物学Ⅱ	1後	2								兼1
	科	遺伝子工学	1後	2								兼1
	学	植物科学概論	1後	_	2							兼1
	系	多様性生物学概論	1後		2							兼3
	/ \	遺伝学概論	2前	2	_							兼1
		生命倫理・研究倫理	2前	2			2	0				兼9
		小計(10科目)	∠Hij -	10	10	0	3	1	0	0	0	
		月 (10/4日) 自然科学基礎実験 I	- 1前	3	10	U	2	0	U	2	4	兼16 姜 Q
		自然科学基礎実験 II	1後				3	0		2	4	兼 6
		応用実験 I (物質系)					1	J		~	7	
		応用実験 I(初真糸)	2前				1				_	兼2 ±1
			2前							•	2	兼1 ** 1
	₽	応用実験I(タンパク質系)	2前				1			2		兼1 * 4
	実験	応用実験 I (微生物系)	2前				1				2	兼1 #2
		応用実験 I (動植物系)	2前					0				兼2 ***
	系	応用実験Ⅱ(物質系)	2後				1				_	兼2 ***
		応用実験I(DNA系)	2後								2	兼1
		応用実験Ⅱ(タンパク質系)	2後				1			2	_	兼1 #2
		応用実験Ⅱ(動植物系)	2後	1			1				2	兼2 ***
		応用実験 II (情報系)	2後	1	_	_	1	_	_	1	_	兼4
	如一	小計(12科目)	-	18	0	0	4	0	0	3	4	兼17
	教 自育 立	バイオ実験夢チャレンジ I	1前			1	0					兼3
	系的	バイオ実験夢チャレンジⅡ	1後			1	0				L	兼3
	l	小計(2科目)	-	0	0	2	0	0	0	0	0	兼3

			配	Ĺ	单位数	女	専	任教	[員等	の配	置	兼任
科 区		授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		コンピュータ・グラフィックス実習	1前		1		1					兼1
		人工知能入門	1後		1		1					兼1
		人工知能の理論と実践	2前		1		1					兼1
		A I ロボット製作実習	2後		1		1					兼1
		医療のための情報工学概論 I	2前		2							兼1
	医	医療のための情報工学概論Ⅱ	2後		2							兼1
	療	医用データベース技術 I	2前		1					1		兼1
	情	医用データベース技術Ⅱ	2後		1			١.		1		兼1
	報	ゲノム解析学	2後		2			1				٠.
	系	医用工学概論	2後		2							兼1
		立体解剖学	2後		2		1					兼1
		インシリコ創薬基礎実習	3前	1				1				兼4
		進化生物学	3前		2			1				
		医療情報学概論	3後		2		1					l l
		インシリコ創薬応用実習	3後		1			1				兼3
		小計(15科目) 実験動物学	-	1	21	0	2	1	0	1	0	兼6
	1後		2							兼6		
	2前		2							兼1		
		組織学	2前		2							兼1
		医学概論	2前		2							兼2
		栄養学	2前		2			1				
専		神経科学	2後		2							兼1
門	医	食品衛生学	2後		2		1					兼1
プ	科	動物系統分類学	2後		2							兼1
	学	動物生殖発生学	2後		2							兼2
グ	系	免疫学	3前		2							兼2
ラ	713	病原ウイルス学	3前		2		1					
ム		公衆衛生学	3前		2							兼1
Δ		病理学	3前		4							兼5
		細胞工学	3前		2							兼1
		発生生物学	3前		2							兼2
		薬理学	3後		2							兼1
		小計(16科目)	-	0	34	0	1	1	0	0	0	兼17
		医薬分子機能学	2後		2			1				
		生体高分子解析学	2後		2							兼1
	創	放射線概論	2後		2		1					
	薬	創薬科学概論	3前		2		1					
	科	タンパク質工学	3前		2			2				
	学	生理活性物質概論	3前		2			1				
	系	構造生物学	3後		2							兼1
		生体材料工学	3後		2			1				兼1
		小計(8科目)	-	0	16	0	2	3	0	0	0	兼2
	専	M専門実験 I A(医科学系)	3前	3	Ť		2	4				
	門	M専門実験 I B (創薬科学系)	3後	_			2	4				
	実 M専門実験IA (医科学系)		3前				1	5				
	験 M専門実験IB(創薬科学系)			3			1	5				
	系 小計 (4科目)			12	0	0	2	5	0	0	0	0
	サージをはいる。			2	_	-	3	6	_	_	_	Ť
	マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ マ ス マ ス で ス で ス で ス			8			3	6				
	A A 小計 (2科目)			10	0	0	3	6	0	0	0	0
科教		特殊講義(単位互換)	1-2-3-48	0	-		Ť					Ť
	文行	小計(-科目)	_		_		-	_	-	_	-	-
H		(136科目)	Η-	80	171	4	8	6	0	2	0	兼62
			本業要					J	J	_	J	

卒業要件及び履修方法

卒業には、所定の在学期間を満たし、各科目区分ごとに定める必要単位の合計 122単位に加え、すべてのプログラムのいずれかの系統から6単位以上を選択履修 し、合計128単位以上を修得しなければならない。なおこの6単位以上の履修に は、他学科受講科目の単位を含めることが出来る。(履修科目の登録の上限:48 単位(年間))

日子 日本		_		配	<u>i</u>	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
			授業科目の名称	年	必	選	自	教		講	助	助	1 • 1
大工知能入門 1後 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2		1			修		由		授	師	教	手	44
# A I I I I I I I I I I I I I I I I I I													
A I I I I I I I I I													
無限のための情報工学理論 に													
医療													
 (株) 株の (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)		_				_		_					
# 日本の		_						_			1		
 報子 グノ角解行学 2後 2 2 1 1 0 0			医用データベース技術 Ⅱ			1		1			1		兼0
展用工学機論 立体解剖学 2後 2 1 1 0			ゲノム解析学			2		1	0				
古代解剖学 2後 2 1 0			医用工学概論	2後		2							兼1
進化生物学 一次		糸	立体解剖学	2後		2		1					兼1
医療情報学概論 3後 2 1 1 0 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3			インシリコ創薬基礎実習	3前	1			1	0				兼3
中の			進化生物学	3前		2		1	0				
中門プログラム 中門プログラム 中門プログラム 中門プログラム 中門プログラム 中門プログラム 中野大阪学 16 10 10 10 10 10 10 10			医療情報学概論	3後		2		1					
実験動物学 1後 2													兼3
専門 一次 計算 2 1 0 2 3 2 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 <td colspan="11">小計 (15科目) - 1 21 0 3 0 0 1 0</td> <td>兼6</td>	小計 (15科目) - 1 21 0 3 0 0 1 0											兼6	
専門 プログラム												兼6	
専門 で			動物生理学	2前		2							兼1
専門ププログラム 上級報料学 (2後 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			組織学	2前		2							兼1
専門ププログラム 2後 2 1 1 票 1 票 1 票 1 票 1 票 1 票 1 票 1 票 1 票			医学概論	2前		2							兼7
専門プログラム 食品衛生学 2後 2 2 3 1 素1 素			栄養学	2前		2		1	0				
特別 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	亩		神経科学	2後		2							兼1
サット かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい		匠	食品衛生学	2後		2		1					兼1
対	1	-	動物系統分類学	2後		2							兼1
グラム 発疫学 病原ウイルス学 3前 2 3前 2 3前 2 3前 2 3前 2 3前 2 3前 3前 2 3前 3前 2 3前 3前 2 3前 3前 2 3 3前 3 2 3 3 3 3			動物生殖発生学	2後		2							兼1
ラム 病原ウイルス学 3前 2 1 編集 兼1 公衆衛生学 3前 2 4 第5 兼1 病理学 3前 2 4 第1 兼1 発生生物学 3前 2 4 第1 兼1 水計(16科目) - 0 34 0 2 0 0 0 0 2 医薬分子機能学 2後 2 1 0 4 <td>_</td> <td> -</td> <td>免疫学</td> <td>3前</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>兼9</td>	_	-	免疫学	3前		2							兼9
 公衆衛生学 3前 4		\K	病原ウイルス学	3前		2		1					
病理学 3前 2			公衆衛生学	3前		2							兼1
発生生物学 薬理学 3前 3後 2 数 2 兼1 小計(16科目) - 0 34 0 2 0 0 0 0 2 2 1 0 0 0 0 2 2 1 0 0 0 0 0 0 2 2 1 0 0 0 0 0 2 2 1 0 0 0 0 2 2 1			病理学	3前		4							兼5
薬理学 3後 2 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0			細胞工学	3前		2							兼1
小計 (16科目) - 0 34 0 2 0 0 0 0 2 2 2 0 0 0 0 3 2 2 0 0 0 0			発生生物学	3前		2							兼1
医薬分子機能学生体高分子解析学 2後 2 1 か射線概論 2後 2 1 1 分 2 2 1 1 分 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			薬理学	3後		2							兼1
生体高分子解析学 2後 2 1 1 2 2 3 1 4 4 1 3 1 3 4 兼1 対射線概論 2後 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2				ı	0	34	0	2	0	0	0	0	兼26
創 放射線概論 2後 2 1 1 2 2 3前 3前			医薬分子機能学	2後		2		1	0				
薬 創薬科学概論 3前 2 1 2 4 2 4 2 4 2 4 4 2 4			生体高分子解析学	2後		2							兼1
科 タンパク質工学 3前 2 1 1			放射線概論	2後		2		1					
学 生理活性物質概論				3前				1					
系 構造生物学 3後 2 1 1 第1 兼1													
生体材料工学 3後 2 1 点 兼1 小計(8科目) - 0 16 0 3 2 0 0 0 兼2 専		_							1				
小計 (8科目) - 0 16 0 3 2 0 0 0 3 兼2 中		糸											
専門					Ļ		_	_		_	_	_	
円		<u> </u>		.		16	0			0	0	_	兼2
実 験 M専門実験IB (創業科学系) 系 小計 (4科目) 3後 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3											_	2	
験 系 M専門実験IB (創薬科学系) 3後 3 1 2 小計(4科目) - 12 0 0 4 3 0 2 2 0 ウ 文献調査・講読 公業研究 (小計(2科目) 4通 8 7 3 0					_						2		
系 小計 (4科目) - 12 0 0 4 3 0 2 2 0 ヴ ウ 文献調査・講読 4通 2 4通 8 7 3 0 2 2 0 マ業研究 4通 8 7 3 0 0 0 0 0 小計 (2科目) - 10 0 0 7 3 0 0 0 0 0 科 教 特 特殊講義 (単位互換)					_						_	2	
時間 中間 文献調査・講読 4通 2 7 3 3 3 3 4通 2 7 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4					_			_				_	
成合素 本業研究 4通 8 7 3 0 0 0 水計(2科目) - 10 0 7 3 0 0 0 0 科教特 特殊講義(単位互換) -						U	U			U			U
合素 小計(2科目) - 10 0 0 7 3 0 0 0 0 科教特特殊講義(単位互換)		P9											
科教特特殊講義(単位互換) -		合				0	0			0	0	0	0
目育定 小計 (-科目) -	私力				10		U	–	3	U	U	U	U
合計 (136科目) - 80 174 4 11 3 1 3 4 #67								-	_	_	 	-	
					80		4						
										_		•	

卒業には、所定の在学期間を満たし、各科目区分ごとに定める必要単位の合計 122単位に加え、すべてのプログラムのいずれかの系統から6単位以上を選択履 修し、合計128単位以上を修得しなければならない。なおこの6単位以上の履修 には、他学科受講科目の単位を含めることが出来る。(履修科目の登録の上限: 48単位(年間))

【令和元年度】

【令和2年度】

4.7	_		配业	į	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼 任
科 区:		授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教授	准 教 授	講師	助教	助手	兼担
		一般英語 I	1前	2	1/1	Н	18	1	Dili	+2		兼3
		一般英語 Ⅱ	1後	2				1				兼3
		科学英語 I	2前	2				1				兼3
		科学英語 Ⅱ	2後	2				1				兼3
		科学英語Ⅲ	3・4前		2							兼1
		科学英語IV	3・4後		2							兼1
		英語多読 I	1・2前		2			1				兼0
		英語多読 Ⅱ	1・2後		2			1				兼0
		英会話 I	2・3・4期		2							兼1
	語	英会話 Ⅱ	2 · 3 · 4/8		2							兼1
	学	TOEIC講座 I	3・4前		2							兼1
	系	TOEIC講座 II	3・4後		2							兼1
		英文法 I	1-2-3-48		1							兼1
		英文法 Ⅱ	1-2-3-48		1							兼1
		海外英語研修	2・3・4機			1		1				兼0
		小計(15科目)	-	8	18	1	0	1	0	0	0	兼5
		言語表現 I	1前	2								兼2
		言語表現 Ⅱ	1後	2								兼2
		日本語 I (留学生)	1前		1							兼1
		日本語 II (留学生)	1後		1							兼1
		小計(4科目)	-	4	2	0	0	0	0	0	0	兼2
		科学技術論	1前		2							兼1
		サイエンスイノベーション入門	1前	2			1	3				兼5
学		健康保健学	1前		2							兼1
部		社会学	1前		2							兼1
共		現代の政治と社会	1前		2							兼1
通		哲学	1前		2							兼1
A.E.	教	世界史	1前		2							兼1
	養	心理学	1前		2							兼1
	系	経済学	1後		2							兼1
	/ (法学(日本国憲法)	1後		2							兼1
		データ解析学	2前		2							兼2
		文学	2前		2							兼1
		日本の歴史と文化	2前		2							兼1
		おうみ学生未来塾	2後		2		1					兼1
		近江の文化と歴史	2後		2							兼1
		小計(15科目)	-	2	28	0	2	3	0	0	0	兼19
	+	大学での学びと実践方法 I	1前	2			1	4		1		兼13
	ヤ	大学での学びと実践方法 Ⅱ	1後	2			1					兼0
	リ	社風発見インターンシップ	1後		1		1					兼0
	ア	長浜魅力づくりプロジェクト	2通		2		1					兼0
	教	バイオビジネス概論	2前		2		2					兼0
	育系	化学工学基礎	2後		2		1					
	糸 /	マーケティング戦略の立案	2後		1		1					兼0
	Ľ	工学デザイン概論	2前		2		1					
	ジ	社会との関わりとキャリアバス	3前		2		1					兼0
	ネ	生物工学システム	3前		2			1				兼1
	ス	インターンシップ実習	3後			1						兼1
	教育	バイオ産業論	3後		2		1					兼0
	系	生産管理システム	3後		1			2				兼2
1		小計(13 科目)	-	4	17	1	3	4	0	1	0	兼16

	_		配	į	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区:		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
1		机苯汞 τ	次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		一般英語 I 一般英語 II	1前 1後	2				0	1			兼3
		科学英語 I	2前	2				0	1			兼3 兼3
		科学英語Ⅱ	2倒	2				0	1			兼3
		科学英語Ⅲ	3・4前	_	2			Ü	-			兼1
		科学英語IV	3・4後		2							兼1
		英語多読 I	1・2前		2			0	1			兼0
		英語多読 Ⅱ	1・2後		2			0	1			兼0
		英会話 I	2・3・4期		2				_			兼1
	語	英会話 II	2 · 3 · 4%		2							兼1
	学	TOEIC講座 I	3・4前		2							兼1
	系	TOEIC講座 II	3・4後		2							兼1
		英文法 I	1-2-2-49		1							兼1
		英文法 Ⅱ	1-2-2-49		1							兼1
		海外英語研修(未開講)	2 · 3 · 4/6			1		0	1			兼0
		小計(15科目)	-	8	18	1	0	0	1	0	0	兼5
		言語表現 I	1前	2								兼2
		言語表現 Ⅱ	1後	2								兼2
		日本語 I (留学生)	1前		1							兼1
		日本語 Ⅱ (留学生)	1後		1							兼1
		小計(4科目)	-	4	2	0	0	0	0	0	0	兼2
		科学技術論	1前		2							兼1
		サイエンスイノベーション入門	1前	2			2	2				兼5
学		健康保健学	1前		2							兼1
部		社会学	1前		2							兼1
共		現代の政治と社会	1前		2							兼1
通		哲学	1前		2							兼1
~	教	世界史	1前		2							兼1
	養	心理学	1前		2							兼1
	系	経済学	1後		2							兼1
	,,,	法学(日本国憲法)	1後		2							兼1
		データ解析学	2前		2							兼2
		文学	2前		2							兼1
		日本の歴史と文化	2前		2							兼1
		おうみ学生未来塾	2後		2		1					兼1
		近江の文化と歴史	2後		2							兼1
		小計(15科目)	-	2	28	0	3	2	0	0	0	兼19
	+	大学での学びと実践方法 I	1前	2			2	3		2		兼12
	ヤ	大学での学びと実践方法Ⅱ	1後	2			1					
	リ	社風発見インターンシップ	1後		1		1					
	ア	長浜魅力づくりプロジェクト	2通		2		1					
	教育	バイオビジネス概論	2前		2		3					
	系	化学工学基礎	2後		2		1					
	/	マーケティング戦略の立案	2後		1		1					
	ビ	工学デザイン概論	2前		2		1 1					
	ジネ	社会との関わりとキャリアバス	3前		2		1	1				* 1
	イス	生物工学システム インターンシップ実習	3前 3後		_	1		Т				兼1 兼1
	教	バイオ産業論	3後		2	Т	1					ЖI
	育	ハイ / / / / / / / / / / / 生産管理システム	3後		1		-	2				兼2
	系	小計(13科目)	3後	4	17	1	5	3	0	2	0	兼15
Į		(エンバオロ)			1/	Т	,	J	U	_	U	WID

科			配当	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
区		授業科目の名称	年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		W-TMTN AV	次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		数理科学 I	1前	2	_							兼1
		数理科学Ⅱ	1後		2							兼2
	数	数理科学Ⅲ	1後		2							兼1
	理	数理科学IV	2前		2							兼1
	科	数理科学V	2後		2							兼1
	学	線形代数学	1前		2							兼1
	系	数学基礎演習 I (基礎解析)	1前		1							兼2
		数学基礎演習 Ⅱ (微分積分)	1後		1							兼:
		解析学	2後		2							兼:
		小計(9科目)	-	2	14	0	0	0	0	0	0	兼(
		化学基礎	1前	2				2				兼4
	١	エッセンシャル生化学 I	1前	2				1				
	物	エッセンシャル生化学Ⅱ	1後	2				1				
	質	エッセンシャル化学 I	1後	2				1				兼
	科	エッセンシャル化学Ⅱ	2前		2							兼
	学	安全学	2前		2							兼:
	系	機器分析概論	2前		2							兼
		有機化学	2後		2							兼:
		小計(8科目)	-	8	8	0	0	4	0	0	0	兼(
	唐	コンピュータ基礎実習	1前		1							兼
	情	コンピュータ応用実習	1後	1	_			0		1		兼4
	報一	生命情報科学概論	2前		2							兼
	系	生命情報科学実習	2前		1			0				兼
学		小計(4科目)	- 1 計	2	4	0	0	0	0	1	0	兼(
部		生物学基礎	1前 1前		2		1	1				
共		基礎微生物学	1前		2			_				兼
通	生	エッセンシャル動物科学	1前		2							兼9
	命	エッセンシャル生物学Ⅱ	1後	2								兼
	科	遺伝子工学	1後	2								兼
	学	植物科学概論	1後	_	2							兼
	系	多様性生物学概論	1後		2							兼:
	スペ	遺伝学概論	2前	2								兼:
		生命倫理・研究倫理	2前	2			3	1				兼
		小計(10科目)	-	10	10	0	4	2	0	0	0	兼1
		自然科学基礎実験 I	1前	3		_	3	0	Ť	1	Ť	兼
		自然科学基礎実験Ⅱ	1後	3			3	0		1		
		応用実験 I (物質系)	2前	1			1			1		兼
		応用実験I(DNA系)	2前	1			•					兼
		応用実験Ⅰ(タンパク質系)	2前	1			1					兼:
	実	応用実験 I (微生物系)	2前	1			1					-10.
	験	応用実験 I (動植物系)	2前	1			•	0				兼3
	系	応用実験Ⅱ(物質系)	2後	1			2	٦				兼:
	ボ	応用実験II(例貝ボ)	2後	1			_					兼:
	ĺ	応用実験II(タンパク質系)	2後	1			1			0		Æ.
										U		*
		応用実験 I (動植物系)	2後	1			1	_				兼:
		応用実験Ⅱ(情報系)	2後	1	_		<u> </u>	1			Ļ	兼4
	- 李	小計(12科目)	-	18	0	0	4	1	0	1	0	兼1
	教自		1前			1	1					兼2
	系的	バイオ実験夢チャレンジⅡ	1後			1	1					兼2
	l	小計(2科目)	-	0	0	2	1	0	0	0	0	兼.

	_		配	į	单位数		専	任教	員等	の配	置	兼任
	日分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	1 - 1
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	兼担
		数理科学 I	1前	2								兼1
		数理科学 Ⅱ	1後		2							兼2
	数	数理科学Ⅲ	1後		2							兼1
	理	数理科学IV	2前		2							兼1
	科	数理科学V	2後		2							兼1
		線形代数学	1前		2							兼1
	学	数学基礎演習 I (基礎解析)	1前		1							兼2
	系	数学基礎演習 Ⅱ (微分積分)	1後		1							兼1
		解析学	2後		2							兼1
		小計(9科目)	-	2	14	0	0	0	0	0	0	兼6
		化学基礎	1前	2				2				兼4
		エッセンシャル生化学 I	1前	2			1	0				
	物	エッセンシャル生化学Ⅱ	1後	2				1				
	質	エッセンシャル化学 I	1後	2			1	0				兼2
	科	エッセンシャル化学Ⅱ	2前	_	2		Ι-	_				兼2
	学	安全学	2前		2							兼1
	系	機器分析概論	2前		2							兼2
		有機化学	2後		2							兼1
		小計(8科目)	-	8	8	0	1	3	0	0	0	兼6
		コンピュータ基礎実習	1前		1							兼2
	情	コンピュータ応用実習	1後	1				0		1		兼4
	報	生命情報科学概論	2前		2							兼2
	系	生命情報科学実習	2前		1			0				兼2
学		小計(4科目)	-	1	4	0	0	0	0	1	0	兼6
部		エッセンシャル生物学 I	1前	2			1					
		生物学基礎	1前		2			1				
共		基礎微生物学	1前		2							兼2
通	生	エッセンシャル動物科学	1前		2							兼10
	命	エッセンシャル生物学Ⅱ	1後	2								兼1
	科	遺伝子工学	1後	2								兼1
	学	植物科学概論	1後		2							兼1
	系	多様性生物学概論	1後		2							兼3
		遺伝学概論	2前	2								兼1
		生命倫理・研究倫理	2前	2			2	0				兼10
		小計(10科目)	-	10	10	0	3	1	0	0	0	兼18
		自然科学基礎実験 I	1前	3			3	0		2		兼9
		自然科学基礎実験 Ⅱ	1後	3			3	0		2		兼7
		応用実験 I (物質系)	2前	1			1					兼1
		応用実験 I (DNA系)	2前	1								兼1
		応用実験I(タンパク質系)	2前	1			1					兼1
	実	応用実験 I (微生物系)	2前	1			1					兼2
	験	応用実験 I (動植物系)	2前	1				0				兼3
	系	応用実験Ⅱ(物質系)	2後	1			1					兼1
		応用実験 II(DNA系)	2後	1								兼1
		応用実験Ⅱ(タンパク質系)	2後	1			1			0		
	Ī	応用実験 Ⅱ (動植物系)	2後	1			1					兼3
		応用実験Ⅱ (情報系)	2後	1			1	0		1		兼4
		小計(12科目)	- :-	18	0	0	4	0	0	3	0	兼18
	教 自	バイオ実験夢チャレンジI	1前			1	0					兼3
	育立	バイオ宝畭悪チャレンジⅡ	1後			1	0					兼3
	系 的	小計(2科目)	-	0	0	2	0	0	0	0	0	#3
<u> </u>	<u> </u>	, n (41714)					_	٦				720

科目 授業科目の			配	<u>í</u>	单位数	汝	専	任教	(員等	の配	置	兼任
科 区		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		コンピュータ・グラフィックス実習	1前		1		1					兼0
		人工知能入門	1後		1		1					兼0
		人工知能の理論と実践	2前		1		1					兼0
		A I ロボット製作実習	2後		1		1					兼0
		医療のための情報工学概論 I	2前		2		1					兼1
	医	医療のための情報工学概論Ⅱ	2後		2		1					兼0
	療	医用データベース技術 I	2前		1		1			1		兼0
	情	医用データベース技術 II	2後 2後		1 2		1	1		1		兼0
	報	ゲノム解析学 医用工学概論	2後		2			1				兼1
	系	立体解剖学	2後		2		1					兼1
		147年前子 インシリコ創薬基礎実習	3前	1			1	1				兼3
				1	2			1				来ら
		進化生物学 医療情報学概論	3前 3後		2			1				
			3後				1	4				#2
		インシリコ創薬応用実習 小計 (15科目)	3仮	-	1	0	2	1	_	-1	0	兼2
		小計(15科目) 実験動物学	- 1後	1	21	0		1	0	1	0	兼6 兼6
		動物生理学	- 12-4		2							兼1
		到初主理子 組織学	2前									兼1
		12177	2前		2							
		医学概論	2前		2							兼3
		栄養学 神経科学	2前		2			1				*** 4
専			2後 2後		2							兼1
門	医	食品衛生学			2		1					兼1
プ	科	動物系統分類学	2後		2							兼1
	学	動物生殖発生学 免疫学	2後		2							兼2 * 0
グ	系		3前		2							兼8
ラ		病原ウイルス学	3前		2		1					≥
ム		公衆衛生学 病理学	3前		2 4							兼1 兼5
		細胞工学	3前		2							兼1
		^{和尼工子} 発生生物学	3前 3前		2							兼3
		来 薬理学	3後		2							兼1
		※ 注于 小計 (16科目)	21女	0	34	0	1	1	0	0	0	
		医薬分子機能学	- 2後	0	2	U	1	1	U	U	U	兼23
		生体高分子解析学	2後		2			1				兼1
	創				_		1					ж⊥
	薬	放射線生物学創薬科学概論	2後 3前		2		1					
	架	剧条科子概論 タンパク質工学	3前		2			2				
	学	タンパク員工子 生理活性物質概論	3前		2			1				
	系	構造生物学	3後		2			1				兼1
	715	生体材料工学	3後		2			1				兼1
		<u> </u>	- 51を	0	16	0	2	3	0	0	0	兼2
		/J 「 (O / キロ /)	- 3前	3	10	U	1	3	U	U	U	ホム
	専門	M専門実験IA(医科子系) M専門実験IB(創薬科学系)	3前	_			1	2		1		
	実	M専門実験 I A(医科学系)	3後	3			1	3		1		
	験	M専門実験IB(創薬科学系)	3後	3			1	2		1		
	系	小計(4科目)	- 51を	12	0	0	2	5	0	1	0	0
	専	文献調査・講読	- 4通	2	0	J	3	6	0	-	0	J
	門総	卒業研究	4通				3	6				
	合	<u> </u>	4.理	10	0	0	3	6	0	0	0	0
科教	系 女特	特殊講義(単位互換)	1-2-3-48	10	-	J	Ļ		-	-	-	J
	文行	小計(-科目)	1-2-1-46		_		-	-	-	_	-	-
		(137科目)		80	172	4	9	7	0	2	0	兼67
			卒業要		<u> </u>				J		J	ARU,
.			. ^<>		J /152.1	J, J/I	-					

卒業には、所定の在学期間を満たし、各科目区分ごとに定める必要単位の合計 122単位に加え、すべてのプログラムのいずれかの系統から6単位以上を選択履修 し、合計128単位以上を修得しなければならない。なおこの6単位以上の履修に は、他学科受講科目の単位を含めることが出来る。(履修科目の登録の上限:48 単位(年間))

			配	ĺ	单位数	女	専	任教	[員等	の配	置	兼任
科 区		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
		コンピュータ・グラフィックス実習	1前		1		1					兼0
		人工知能入門	1後		1		1					兼0
		人工知能の理論と実践	2前		1		1					兼0
		A I ロボット製作実習	2後		1		1					兼0
		医療のための情報工学概論 I	2前		2		1					兼1
	医	医療のための情報工学概論 II	2後		2		1					兼0
	療	医用データベース技術 I	2前		1		1			1		兼0
	情	医用データベース技術 Ⅱ	2後		1		1			1		兼0
	報	ゲノム解析学	2後		2		1	0				
	系	医用工学概論	2後		2							兼1
	不	立体解剖学	2後		2		1					兼1
		インシリコ創薬基礎実習	3前	1			1	0				兼3
		進化生物学	3前		2		1	0				
		医療情報学概論	3後		2		1					
		インシリコ創薬応用実習	3後		1		1	0				兼2
		小計(15科目)	-	1	21	0	3	0	0	1	0	兼6
		実験動物学	1後		2							兼6
		動物生理学	2前		2							兼1
		組織学	2前		2							兼2
		医学概論	2前		2							兼4
		栄養学	2前		2			1				
		神経科学	2後		2							兼1
専		食品衛生学	2後		2		1					兼1
門	医	動物系統分類学	2後		2							兼1
プ	科	動物生殖発生学	2後		2							兼3
	学	免疫学	3前		2							兼8
グ	系	病原ウイルス学	3前		2		1					ARO
ラ		公衆衛生学	3前		2		_					兼1
Δ		病理学	3前		4							兼5
		細胞工学	3前		2							兼1
		発生生物学	3前		2							兼3
		薬理学	3後		2							兼1
		, 未 (16科目)	J12	0	34	0	1	1	0	0	0	兼25
		医薬分子機能学	2後	0	2	U	1	0	U	U	U	ж23
		生体高分子解析学	2後		2		•	U				兼1
	創	放射線生物学	2後 2後		2		1					ᄴ
	薬											
	采科	創薬科学概論 タンパク質工学	3前3前		2		2	2				
	学		3前		2			1				
		生理活性物質概論	3前3%		2			Т				並 1
	系	構造生物学	3後					4				兼1 **1
		生体材料工学	3後	_	2	_	<u> </u>	1		_	_	兼1
	_	小計(8科目)	- 2∺	0	16	0	4	2	0	0	0	兼2
	専	M専門実験IA(医科学系)	3前	3			1	3		_		
	門	M専門実験IB(創薬科学系)	3前				2	1		2		
	実験	M専門実験ⅡA(医科学系)	3後				1	3				
	験系	M専門実験IB(創薬科学系)	3後	3	_	•	2	1	•	2	_	
	中	小計(4科目)	- 4`至	12	0	0	3	4	0	2	0	0
	P9	文献調査・講読	4通	2			6	4				
	総合	卒業研究	4通	8		_	6	4	_			
	系	小計(2科目)	-	10	0	0	6	4	0	0	0	0
	科教特特殊講義(単位互換)目育定 (小計(-科目)		1-2-3-48		-							Ш
□ F		小計 (-科目)	-	0.0	-		-	-	-	-	-	-
	台討	· (137 科目)	- 		172	4	11	4	1	3	0	兼72
		2	学業 生		:び履f		7					

卒業には、所定の在学期間を満たし、各科目区分ごとに定める必要単位の合計 122単位に加え、すべてのプログラムのいずれかの系統から6単位以上を選択履修し、合計128単位以上を修得しなければならない。なおこの6単位以上の履修には、他学科受講科目の単位を含めることが出来る。(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【令和3年度】

		7和3千度1	配	į	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区:		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
		一般英語 I	1前	2					1			兼3
		一般英語Ⅱ	1後	2					1			兼3
		科学英語 I	2前	2					1			兼3
		科学英語 Ⅱ	2後	2					1			兼3
		科学英語Ⅲ	3・4前		2							兼1
		科学英語IV	3・4後		2							兼1
		英語多読 I	1・2前		2				1			兼0
		英語多読 Ⅱ	1・2後		2				1			兼0
		英会話 I	2・3・4例		2							兼1
	語	英会話 II	2 · 3 · 4%		2							兼1
	学	TOEIC講座 I	3・4前		2							兼1
	系	TOEIC講座 II	3・4後		2							兼1
		英文法 I	1-2-3-48		1							兼1
		英文法 Ⅱ	1-2-3-48		1							兼1
		海外英語研修(未開講)	2 · 3 · 4%			1			1			兼0
		小計(15科目)	-	8	18	1	0	0	1	0	0	兼7
		言語表現 I	1前	2								兼2
		言語表現Ⅱ	1後	2								兼2
		日本語 I (留学生)	1前		1							兼1
		日本語Ⅱ(留学生)	1後		1							兼1
		小計(4科目)	-	4	2	0	0	0	0	0	0	兼2
		科学技術論	1前		2							兼1
		サイエンスイノベーション入門	1前	2			3	1				兼5
		健康保健学	1前		2							兼1
学		社会学	1前		2							兼1
部		現代の政治と社会	1前		2							兼1
共		哲学	1前		2							兼1
通		世界史	1前		2							兼1
	教	心理学	1前		2							兼1
	養	経済学	1後		2							兼1
	系	法学(日本国憲法)	1後		2							兼1
		データ解析学	2前		2							兼2
		文学	2前		2							兼1
		日本の歴史と文化	2前		2							兼1
		おうみ学生未来塾	2後		2		1					兼0
		近江の文化と歴史	2後		2							兼1
		近江でのSDGsの実			2							兼1
		小計(16科目)	-	2	30	0	4	1	0	0	0	兼18
	+	大学での学びと実践方法 I	1前	2			1	0		3		兼9
	ヤ	大学での学びと実践方法 Ⅱ	1後	2			1					兼0
	リ	社風発見インターンシップ	1後		1		1					兼0
	ア	長浜魅力づくりプロジェクト(未開講)	2通		2		1					兼0
	教	バイオビジネス概論	2前		2		2					兼0
	育系	化学工学基礎	2後		2		1					l
	/	マーケティング戦略の立案	2後		1		1					兼0
	ビ	工学デザイン概論	2前		2		1					l
	ジ	社会との関わりとキャリアバス	3前		2		1					兼0
	ネっ	生物工学システム	3前		2			1				兼1
	ス教	インターンシップ実習(未開講)	3後			1						兼1
	育	バイオ産業論	3後		2		1					兼0
	系	生産管理システム	3後		1			2				兼2
		小計(13科目)	-	4	17	1	3	2	0	3	0	兼13

科目 区分 授業科目の名称 当 失 数理科学 I 1前 数理科学 II 1後 数理科学 II 1後	必修2	選	自	教	准	講	助	RH.	
数理科学 I 1前 数理科学 II 1後 数理科学 II 1後	-				教	n m	LyJ	助	任・兼
数理科学 I 1後 数理科学 II 1後	7	択	由	授	授	師	教	手	担
数理科学Ⅲ 1後	_								兼1
数		2							兼2
		2							兼1
理 数理科学Ⅳ 2前		2							兼1
料 数理科学 V 2後		2							兼1
線形代数学 1前		2							兼1 #2
新学基礎演習 I(基礎解析) 1前		1							兼2 ***
数学基礎演習 I(微分積分) 1後		1							兼1
解析学 2後	2	2	0	_	0	0	_	_	兼1
小計 (9科目) - 化学基礎 1前	2	14	0	0	0 1	0	0	0	兼6 #4
	2			1	_				兼4
エッセンシャル生化学 I 1前 物 エッセンシャル生化学 I 1後	_			1	0				
	2				1				* ≠ ⊃
	2	1		1	0				兼2 **2
1.1 = 2 = 2 1.11.103 = 1.113		2							兼2 * 1
学 安全学 2前		2							兼1
系機器分析概論 2前		2							兼2 ***
有機化学 2後	0	2	0	•	•	0	0	0	兼1
小計 (8科目) - コンピュータ基礎実習 1前	8	8	0	1	2	0	0 1	0	兼6 兼1
コンピュータ基礎実習 1前 情 コンピュータ応用実習 1後	1	1		1	•		_		
	1	2			0		1		兼4 ***
		2			•				兼2 * 3
系 生命情報科学実習 2前	1	4	0	4	0	0	4	0	兼2 * E
学 小計 (4科目) - エッセンシャル生物学 1前	2	4	0	1	0	0	1	0	兼5
部 生物学基礎 1前	2	2		1	1				
共 基礎微生物学 1前		2			1				兼2
通生 エッセンシャル動物科学 1前		2							兼 9
命 エッセンシャル生物学 I 1後	2	2							兼1
科 遺伝子工学 1後	2								兼1
学 植物科学概論 1後	2	2							兼1
系 多様性生物学概論 1後		2							兼3
遺伝学概論 2前	2	2							兼1
生命倫理・研究倫理 2前	2			2	0				兼9
小計(10科目) -	10	10	0	3	1	0	0	0	兼17
自然科学基礎実験 I 1前	3			3	0	,	2		兼11
自然科学基礎実験Ⅱ 1後	3			3	0		2	4	兼7
応用実験 I (物質系) 2前	1			1					兼2
応用実験 I(DNA系) 2前	1							2	兼1
応用実験 I (タンパク質系) 2前	1			1			2		兼2
実 応用実験 I (微生物系) 2前	1			1				2	兼1
験 応用実験 I (動植物系) 2前	1				0				兼3
系 応用実験Ⅱ(物質系) 2後	1			1					兼2
応用実験I (DNA系) 2後	1							2	兼1
応用実験Ⅱ(タンパク質系) 2後	1			1			2		兼1
応用実験 I (動植物系) 2後	1			1				2	兼2
応用実験Ⅱ(情報系) 2後	1			1	0		1		兼4
小計(12科目) -	18	0	0	4	0	0	3	4	兼18
教 自 バイオ実験夢チャレンジ I 1前			1	0					兼2
育 立 系 的 バイオ実験夢チャレンジェ 1後			1	0					兼2
小計(2科目) -	0	0	2	0	0	0	0	0	兼2

科目					单位数	汝	専	任教	[員等	の配	置	兼任				
科 区:		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	١.				
			次	修	択	由	授	授	師	教	手	兼担				
		コンピュータ・グラフィックス実習	1前		1		1					兼0				
		人工知能入門	1後		1		1					兼0				
		人工知能の理論と実践	2前		1		1					兼0				
		A I ロボット製作実習	2後		1		1					兼0				
		医療のための情報工学概論 I	2前		2		1					兼1				
	医	医療のための情報工学概論Ⅱ	2後		2		1					兼0				
	療	医用データベース技術 I	2前 2後		1		1			1		兼0 兼0				
	情	医用データベース技術 I ゲノム解析学	2後 2後		1 2		1	0		1		釈り				
	報	クラム解析字 医用工学概論	2後		2		1	U				兼1				
	系	立体解剖学	2後		2		1					兼1				
		インシリコ創業基礎実習	3前	1	_		1	0				兼3				
		進化生物学	3前	_	2		1	0				JK J				
		医療情報学概論	3後		2		1	Ŭ								
		インシリコ創薬応用実習	3後		1		1	0				兼2				
		小計(15科目)	-	1	21	0	3	0	0	1	0	兼6				
		実験動物学	1後		2	_	_	_	_	_	_	兼6				
		動物生理学	2前		2							兼1				
		組織学	2前		2							兼1				
		医学概論	2前		2							兼7				
		栄養学	2前		2		1	0								
_		神経科学	2後		2							兼1				
専門	Æ	食品衛生学	2後		2		1					兼1				
プ	医	動物系統分類学	2後		2							兼1				
	科学	動物生殖発生学	2後		2							兼2				
ログ	子系	免疫学	3前		2							兼9				
ラ	不	病原ウイルス学	3前		2		1									
ム		公衆衛生学	3前		2							兼1				
Δ		病理学	3前		4							兼6				
		細胞工学	3前		2							兼1				
		発生生物学	3前		2							兼2				
		薬理学	3後		2							兼1				
	小計 (16科目) - 0 医薬分子機能学 2後			34	0	2	0	0	0	0	兼27					
		医薬分子機能学	2後 2後		2		1	0								
	l	生体高分子解析学	2							兼1						
	創	放射線生物学		1												
	薬	創薬科学概論	3前		2		1									
	科	タンパク質工学	3前		2			2								
	学	生理活性物質概論	3前		2			1				. عد				
	系	構造生物学	3後		2			_				兼1				
		生体材料工学	3後	_	2	_	_	1	_	_	_	兼1 #2				
	<u> </u>	小計(8科目)	- 2前	0	16	0	3	2	0	0	0 2	兼2				
	専門	M専門実験IA(医科学系)	3前	3			2	2		2						
	実	M専門実験 I B (創薬科学系) M専門実験 II A (医科学系)	3前 3後	3			2 2	1 2		_	2					
	験	M専門実験ⅡA(医科字系) M専門実験ⅡB(創薬科学系)	3後	3			2	1		2	_					
	系	小計(4科目)	-	12	0	0	4	3	0	2	2	0				
	専	文献調査・講読	4通			5	7	3			_	Ť				
	門総	卒業研究	4通	8			7	3								
	合	小計(2科目)	-	10	0	0	7	3	0	0	0	0				
科教	系 数特	特殊講義(単位互換)	1-2-3-48		_							Ť				
	目 育 定 小計 (-科目)		-		-		-	-	-	-	-	-				
	ا≣ے	(138科目)		90	174	Λ	44	2	4	2	1	#70				
L	口司			80	174	4	11	3	1	3	4	兼73				
			平業平	件及	卒業要件及び履修方法											

卒業には、所定の在学期間を満たし、各科目区分ごとに定める必要単位の合計 122単位に加え、すべてのプログラムのいずれかの系統から6単位以上を選択履修 し、合計128単位以上を修得しなければならない。なおこの6単位以上の履修に は、他学科受講科目の単位を含めることが出来る。(履修科目の登録の上限:48 単位(年間))

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
 黒字で記入してください。その上で、各年度については、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。

 - ・ <u>1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。</u> ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
 - イタス年後(ヤ和2年後所成とめれば中和ル年後)の数は過量的係じてください。 (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。) 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

【令和元年度】

- ・専任教員が定年退職前であるため、「一般英語Ⅰ」「一般英語Ⅱ」「科学英語Ⅰ」「科学英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼4」から「准 「兼3」に変更
- 変更。
-) 近年、データサイエンス分野だけでなくバイオサイエンス分野でも大きなイノベーションが起き、急速に社会に浸透してきている。 ・近年、テーダサイエンス分野だけでなくハイオザイエンス分野でも大きなイノペーションか起き、忌愿に在会に浸透してきている。そこで、科目名称を「データサイエンス入門」から「サイエンスイノベーション入門」へ変更し、データサイエンスに加えゲノム編集や再生医療なども対象とすることとした。対象分野を広げたため、専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」「准教授3」「兼5」に変更。・専門性をより深く学生に教授するために「データ解析学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に追加配置。・専任教員が退職前であるため、「おうみ学生未来塾」の専任教員等の配置を、「兼2」から「教授1」「兼1」に変更。・学生に情報収集・分析、課題発見・解決するための思考力・表現力をつけるために「大学での学びと実践方法I」ではグループワークを

- 導入している。より少人数でのグループ配置が効果的だと判断し、「准教授3」「兼10」から「教授1」「准教授4」「助教1」
- 「兼13」に追加配置。 専任教員が退職前であるため、 ・ポータ」に迫加に直。 専任教員が退職前であるため、「大学での学びと実践方法Ⅱ」「社風発見インターンシップ」「長浜魅力づくりプロジェクト」「マーケ ティング戦略の立案」「社会との関わりとキャリアパス 」「 バイオ産業論」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。 専任教員が退職前であるため、「バイオビジネス概論」の専任教員等の配置を「兼2」から「教授2」に変更。
- ・専任教員が退職前であるため、
- ・企業における効率的な生産管理を理解することを学ぶために「生産管理システム」を新規科目として設置。配当年次3後、1単位、 「准教授2」「兼2」を配置。 ・「数理科学V」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼1」に修正。
- ・履修受講を希望する学生が多いため、より丁寧な指導を目的として「コンピュータ基礎実習」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」 に変更
- ・先端知識と技術を学生たちに効果的に習得してもらうために「コンピュータ応用実習」の専任教員等の配置を「准教授 1」「兼 5」から 「助数1」
- ・高いプログラミングの知識と技術を深く教授するために「生命情報科学実習」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼3」から「兼2」に 変更
- ・学生がより幅広い動物科学の知識を効果的に習得できるように「エッセンシャル動物科学」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼9」に 追加配置
- 学生がより幅広い知識を履修できるように「多様性生物学概論」の専任教員等の配置を「兼 1 」から「兼 3 」に追加配置。
- ・近年の生命倫理・研究倫理の重要性とその広がりから「生命倫理・研究倫理」の専任教員等の配置を「兼5」から「教授3」「准教授1」 「兼8」に追加配置
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するために「自然科学基礎実験 I 」の専任教員等の配置を「教授 2 」「准教授 1 」「助教 1 」「兼 5 」 から「教授 3 」「助教 1 」「兼 8 」に追加配置。
- 専門的知識と技術を効果的に教授するために「自然科学基礎実験 II 」の専任教員等の配置を「教授 2 」「准教授 1 」「助教 1 」「兼 5 」
- がら「教授3」「前数1」「兼6」に追加配置。 ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験 I (動植物系)」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼2」 から「兼3」に変更
- ·先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験Ⅱ(物質系)」の専任教員等の配置を「教授1」「兼1」から

- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験Ⅱ(情報系)」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼2」から
- 「准教授1」「兼4」に追加配置。 ・学生により丁寧な指導をするために、
- ・学生により丁寧な指導をするために、「バイオ実験夢チャレンジ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「兼2」に追加配置。 ・兼任講師の就任延期のため、「コンピュータ・グラフィックス実習」「人工知能入門」「人工知能の理論と実践」「AIロボット製作実習」の専任教員等の配置を「教授1」「兼1」から「教授1」に変更。
- ・専門的知識をより効果的に教授するために「医療のための情報工学概論 I 」の専任教員等の配置を「兼 1 」から「教授 1 」「兼 1 」に 変更.
- 。東門的知識をより効果的に教授するために「医療のための情報工学概論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。 ・専門的知識をより効果的に教授するために「医用データベース技術Ⅰ」「医用データベース技術Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」 「兼1」から「教授1」「助教1」に変更。
- 「兼「」から「教授「」「リ教「」に変更。 ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように、実習補助員を多数配置する予定のため、「インシリコ創薬基礎実習」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼4」から「准教授1」「兼3」に変更。 ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように、実習補助員を多数配置する予定のため、「インシリコ創薬応用実習」の専任教員等の配置を「准教授

- 教員等の配置を「准教授 1」「兼3」から「准教授1」「兼2」に変更。 ・学生がより幅広い知識を履修できるように「医学概論」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に追加配置。 ・専門性をより深く教授するために「免疫学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼8」に追加配置。 ・専門性をより深く教授するために「発生生物学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼8」に追加配置。 ・生物に対する放射線の影響が中心的な講義内容であることから「放射線概論」の名称を「放射線生物学」に変更。 ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように、実験補助員を多数配置する予定のため、「M専門実験IA(医科学系)」の 専任教員等の配置を「教授2」「准教授4」から「教授1」「准教授3」に変更。 ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「M専門実験IB(創薬科学系)」の配当年次を3後から3前に変更。また、 実験補助員を多数配置する予定のため、専任教員等の配置を「教授2」「准教授4」から「教授1」「准教授2」「助教1」に変更。 ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「M専門実験ⅡA(医科学系)」の配当年次を3前から3後に変更。 また、実験補助員を多数配置する予定のため、専任教員等の配置を「教授2」「准教授5」から「教授1」「准教授3」に変更。 ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「M専門実験ⅡA(医科学系)」の配当年次を3前から3後に変更。 また、実験補助員を多数配置する予定のため、専任教員等の配置を「教授1」「准教授5」から「教授1」「准教授3」に変更。

【令和2年度】

- 専任教員が定年退職し、後任者が着任したので、「一般英語Ⅰ」「一般英語Ⅱ」「科学英語Ⅰ」「科学英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「准
- 数授1) 「兼3」から「講師1」「兼3」に変更。 ・専任教員が定年退職し、後任者が着任したので、「英語多読Ⅰ」「英語多読Ⅱ」「海外英語研修」の専任教員等の配置を「准教授1」から 「講師1」に変更。
- 科目担当者の昇任により、「サイエンスイノベーション入門」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授3」「兼5」から「教授2」「准
- ・科目担当者の昇任により、「サイエンスインペーンョンス(「)」の専任教員等の配置を「教授 「」「准教授 3」「来 5」へ変更。
 ・科目担当者の昇任、専任教員の産休代替により「大学での学びと実践方法 I 」の専任教員等の配置を「教授 1 」「准教授 4 」「助教 1 」
 「兼 1 3 」から「教授 2 」「准教授 3 」「助教 2 」「兼 1 2 」に追加配置。
 ・専任教員が退職し、後任者が着任、また退職した教員が兼任として科目を担当することになり、「バイオビジネス概論」の専任教員等の配置を、「教授 2 」から「教授 2 」 から「教授 2 」 「 兼 1 」と配置。
- ・科目担当者の昇任により、「エッセンシャル生化学 I」「エッセンシャル化学 I」の専任教員等の配置を「准教授 1」から「教授 1」へ 変更。

- くう。 ・専門性をより深く学生に教授するために「エッセンシャル動物科学」の専任教員等の配置を「兼9」から「兼10」へ追加配置。 ・専門の教員の任用により、「遺伝学概論」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」へ変更。 ・専任教員の定年退職により、「生命倫理・研究倫理」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授1」「兼8」から「教授2」「准教授0」
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するために「自然科学基礎実験I」の専任教員等の配置を「教授3」「助教1」「兼8」から「教授3」 「助数2」 「兼9」へ追加配置
- ・専門約五副・ボンプ・温血品に高を受けるために「自然科学基礎実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3」「助教1」「兼6」から「教授3」 「助教2」「兼7」へ追加配置。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するために「応用実験 I (微生物系) 」の専任教員等の配置を「教授 1 」「兼 0 」から「教授 1 」「兼 21 へ追加配置。
- 2」へ追加配置。
 ・専任教員が定年退職したことにより「応用実験Ⅱ(物質系)」の専任教員等の配置を「教授2」「兼1」から「教授1」「兼1」へ変更。
 ・科目担当者の昇任と、専門的知識と技術を効果的に教授するために「応用実験Ⅱ(情報系)」の専任教員等の配置を「教授0」「准教授1」「兼4」から「教授1」「准教授0」「助教1」「兼4」へ追加配置。
 ・専任教員が退職し、退職した教員が兼任として科目を担当することになり、「バイオ実験夢チャレンジⅡ」の専任教員等の配置を、「教授1」「兼2」から「教授0」「兼3」へ変更。
 ・科目担当者の昇任により、「ゲノム解析学」「進化生物学」の専任教員等の配置を「教授0」「准教授1」から「教授1」、「准教授0」

- ・科目担当者の昇任により、「インシリコ創薬基礎実習」の専任教員等の配置を「教授0」「准教授1」「兼3」から「教授1」「准教授 「兼3」へ変更。
- ・科目担当者の昇任により、「インシリコ創薬応用実習」の専任教員等の配置を「教授 0 」「准教授 1 」「兼 2 」から「教授 1 」「准教授 0」「兼2」へ変更
- ・兼任教員が退職し後任者が着任、退職した教員が兼任として科目を担当することになり、「組織学」の教員の配置を「兼1」から「兼2」 へ追加配置。
- ・専門性をより深く学生に教授するために「医学概論」の教員の配置を「兼3」から「兼4」へ追加配置。 ・兼任教員が退職し後任者が着任、退職した教員が兼任として科目を担当することになり、「動物生殖発生学学」の教員の配置を「兼2」か
- ら「兼3」へ追加配置。 ・科目担当者の昇任により「医薬分子機能学」の専任教員等の配置を「教授0」「准教授1」から「教授1」「准教授0」へ変更。 ・兼任教員が退職し後任者が着任、退職した教員が兼任として科目を担当することになり、「創薬科学概論」「教授1」「兼0」から「教授 11「兼1」へ追加配置。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように、実験補助員を多数配置する予定のため「M専門実験 IB(創薬科学系)」 「M専門実験 IB (創薬科学系) 」専任教員等の配置を「教授 1」「准教授 2」「助教 1」から「教授 1」「准教授 2」「助教 2」へ追加配
- 正。 科目担当者の昇任と、専門的知識をより効果的に教授するために「文献調査・講読」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授3」「准教 授6」から「教授6」「准教授4」へ追加配置。

【令和3年度】

- 科目担当者の昇任により「サイエンスイノベーション入門」専任教員の配置を「教授2」「准教授2」から「教授3」「准教授1」へ変更。
- ・科目担当者の身任により「りイエンスイン、ページョンスド] 専任教員の配置を「教授2」「准教授2」「権教授3」「准教授3」「准教授3」「権教授3」、「権教授3」、「権教授3」、「権教授3」、「権教授3」、「権教授3」、「権教授3」、「権教授3」、「権教授3」、「権教授3」、「権教授3」、「権教授3」、「権教授3」、「権教授3」、「権教授3」、「権教授3」を新規科目として設置し、専任教員等の配置を「兼1」とした。
 ・学生により近い年齢層の教員から、大学での学び方をより理解しやすく教授するため、「大学での学びと実践方法 I」の専任教員等配置を「教授2」「推教授3」「助教2」「兼12」から「教授1」「准教授0」「助教3」「兼9」へ変更。
- 「大学での学びと実践方法 I」の専仟教員等の
- ・専任教員の定年退職に伴い、より専門分野に詳しい教員の赴任により「バイオビジネス概論」の専任教員の配置を「教授3」から 「教授2」へ変更。
- 科目担当者の昇任により「化学基礎」専任教員の配置を「准教授2」から「教授1」「准教授1」へ変更
- ・科目担当者の辞任により「コンピュータ基礎実習」の専任教員等の配置を「教授0」「助教0」「兼2」から「教授1」「助教1」「兼1」
- ・科目担当者の任期満了により「エッセンシャル動物科学」の専任教員等の配置を「兼10」から「兼9」へ変更。 ・科目担当者の自己都合による辞任のため「生命倫理・研究倫理」の専任教員等の配置を「教授2」「兼10」から「教授2」「兼9」へ変 ・専門的知識と技術を効果的に教授するために「自然科学基礎実験 I 」の専任教員等の配置を「助手0」「兼9」から「助手4」「兼11」 「兼9」へ変更。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するために「自然科学基礎実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「助手0」から「助手4」へ変更
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験 I (DNA系) 」「応用実験 I (DNA系) 」の専任教員等の配置を 「助手0」から「助手2」へ変更。 ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験Ⅰ(物質系)」「応用実験Ⅱ(物質系)」の専任教員等の配置を
- 「兼1」から「兼2」へ変更。
- 「兼「」から「来2」へ変更。 ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験 I (タンパク質系)」 の専任教員等の配置を「教授1」「兼1」 から「教授1」「助教2」「兼2」へ変更。 ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験 II (タンパク質系)」の専任教員等の配置を「教授1」「助教0」 「兼0」から「教授1」「助教2」「兼1」へ変更。
- ·先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験 I (微生物系)」の専任教員等の配置を「助手0」から 「助手2」へ変更
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験Ⅱ(動植物系)」の専任教員等の配置を「助手0」から 「助手2」へ変更。

- ・科目担当者の任期満了により「応用実験I(微生物系)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」へ変更。 ・科目担当者の任期満了により「応用実験I(動植物系)」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」へ変更。 ・科目担当者の任期満了により「バイオ実験夢チャレンジI」「バイオ実験夢チャレンジI」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」 へ変更。
- ・科目担当者の任期満了により「組織学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」へ変更。
- ・専門的知識をより効果的に教授するために「医学概論」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼7」へ変更。
 ・専門的知識をより効果的に教授するために「医学概論」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼7」へ変更。
 ・科目担当者の昇任により「栄養学」専任教員の配置を「推教授]」から「教授]」へ変更。
 ・科目担当者の任期満了により「動物生殖発生学」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」へ変更。
 ・学生がより幅広い知識を履修できるように「免疫学」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼9」へ変更。
 ・専門的知識をより効果的に教授するために「病理学」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼6」へ変更。

- ・専门的知識をより効果的に教授するために「病理学」の専任教員寺の配直を「兼3」から「兼6」へ変更。 ・科目担当者の任期満了により、「発生生物学」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」へ変更。 ・科目担当者の任期満了により、「創薬科学概論」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」へ変更。 ・科目担当者の昇任により「M専門実験IA(医科学系)」専任教員の配置を「教授1」「准教授3」から「教授2」「准教授2」へ変更。 ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「M専門実験IA(医科学系)」「M専門実験IIA(医科学系)」の専任教員 ・先端知識と技術を学生だちかより効果的に省待できるように「M専門実験 I A (医科字系) 」「M専門実験 II A (医科字系) 」の専任教 等の配置を「助手0」から「助手2」へ変更。 「M専門実験 I B (創薬科学系) 」専任教員の配置を「教授1」「准教授2」「助教2」から「教授2」「准教授1」「助教2」へ変更 ・科目担当者の昇任により「M専門実験 II A (医科学系) 」専任教員の配置を「教授1」「准教授3」から「教授2」「准教授2」へ変更。 ・「M専門実験 II B (創薬科学系)」専任教員の配置を「教授1」「准教授2」「助教2」から「教授2」「准教授1」「助教2」へ変更 ・科目担当者の昇任により「文献調査・講読」専任教員の配置を「教授6」「准教授4」から「教授7」「准教授3」へ変更。 ・科目担当者の昇任により「卒業研究」専任教員の配置を「教授6」「准教授4」から「教授7」「准教授3」へ変更

【令和4年度】

- ・科目担当者の自己都合による辞任のため「一般英語 I」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」、「一般英語 II」の専任教員等の配置 を「兼3」から「兼1」へ変更。
- ・科目担当者の自己都合による辞任のため「大学での学びと実践方法 I 」の専任教員等の配置を「兼9」から「兼8」

- ・科目担当者の自己都合による辞任のため「大学での学びと実践方法 I 」の専任教員等の配置を「兼9」から「兼8」 へ変更。
 ・より専門分野に詳しい教員の赴任により「バイオ産業論」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」「兼1」へ変更。
 ・化学の基礎的知識をより効果的に教授するために化学基礎の専任教員の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」「准教授0」へ変更。
 ・専門的知識をより効果的に教授するために「エッセンシャル生化学 II を「准教授1」から「推教授2」へ変更。
 ・より専門分野に詳しい教員の赴任により「基礎微生物学」を、「兼2」から「兼1」へ変更。
 ・科目担当者の自己都合による辞任のため、「自然科学基礎実験 I 」の専任教員等の配置を「兼11」から「兼9」へ変更。
 ・科目担当者の自己都合による辞任のため、「自然科学基礎実験 I 」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼6」へ変更。
 ・科目担当者の自己都合による辞任のため、「応用実験 I (タンパク質系)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼6」へ変更。
 ・科目担当者の自己都合による辞任のため、「応用実験 I (タンパク質系)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」へ変更。
 ・科目担当者の自己都合による辞任のため、「応用実験 I (動植物系)」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」へ変更。
 ・専門的知識をより効果的に教授するために「パイオ実験夢チャレンジ I 」「パイオ実験夢チャレンジ II 」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」へ変更。
 ・専門的知識をより効果的に教授するために「インシリコ創業は中実型、東任教員等の配置を「第2」を「第2」を「第2」を「第2」を「第3」へ変更。
- ・専門的知識をより効果的に教授するために「インシリコ創薬応用実習」専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」へ変更。 ・科目担当者の自己都合による退職のために「動物生殖発生学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」へ変更。 ・科目担当者の自己都合による退職のために「病理学」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼5」へ変更。 ・科目担当者の自己都合による退職のために「発生生物学」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼5」へ変更。 ・科目担当者の自己都合による退職のために「発生生物学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」へ変更。

- ・専門的知識をより効果的に教授するために「M専門実験IB (創薬科学系)」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」へ変更。
- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください
 - 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画 必修 選択 自由 計(A)											変更	状況					備考
必何	俢	選	択	自日	由	計(A	4)	必	俢		選扎	7		自由		計		1
39	科目	93	科目	4	科目	136	科目	39	科目	[95 2	科目	[4 科目]	13	8	科目	・企業における効率的な生産管理を理解することを学 がために「生産管理システム」を新規科目として設 窓。 ・SDGs とは何かを学び、SDGsで開ける7階級の目標とそ の目標連飛への表数例なども学ぶために「近江での SDG の実践」を新規科目として設置。

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1 科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	海外英語研修	1	2 • 3 • 4	一般	選択	新型コロナウイルス感染防止の観点から中止
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						_

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

新型コロナウイルス感染防止の観点から海外研修を中止することを決め、「海外英語研修」科目を未開 講とした。

学生には、2022年度履修登録ガイダンス(令和4年3月実施)で説明し告知した。また、学内掲示で徹底 した。

次年度以降は、新型コロナウイルス感染状況を考慮して開講を検討する。

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6)	「設置時の計画の授業科目数の計」	に対オス	「丰間謙利日	と廃止利日の計し	の割合
(\mathbf{O})	「設し好り」「凹りが支表が日数り」」	1CX190	一不用油料日	()	い計回

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計		1	_	0.72	n/
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	136	_	0. 73	70

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				内				2	\$		備考
(1)		区	分		専	用	共	用		共用する 学校等の			計	
		校台	き敷 地			46, 006. 80㎡ 44, 415. 80㎡		()m²	1 12 4 00	01	mi	46, 006. 80㎡ 44, 415. 80㎡	
校		運動	場用地			6, 000. 00m²		()m²		0	mi	6, 000. 00m²	校舎隣接地の購入 (2018年7月) に
地		小	計			52, 006. 80㎡ 50, 415. 80㎡		()m²		0	mi		より校舎敷地が1,591 ㎡増加。 (元)
ļ		そ	の他			2, 867. 00 m ²		()m²		01	mi	2, 867. 00m²	
等		合	計			54, 873. 80m ² 53, 282. 80m ²		()m²		0	mî	54, 873. 80㎡ 53, 282. 80㎡	
					専	用	共	用		共用する 学校等の			計	
(2) 校		쇧	È			19, 540. 72㎡		()m²		0	m²	19, 540. 72㎡	
					(19	540. 72m²)	(0m³)	(0m²)	(19540. 72m²)	
				講	義 室	演	望 室	実験乳	全智室	情報処	理学習	施設 詞	吾学学習施設	大学全体
(3) 教	室	₹ ₹	Ē						204			3室	0室	実験実習室には専任教員実験研究室(学
					;	9室	14室		60室		助職員2.	L) (補助職員0人)	生の「卒業研究」も 実施) 45室も含む。
(4) 専	红数含		2			新設学部	等の名称				室	类	Ż	専任教員研究室(教 員室)はオフィス相
(4) 5	工 教員	せいたヨ	=			大学	全体				50		室	当
				2	書	学術	雑誌			- 視聴覚	* 咨判	機械・器具	見 標 本	
(5)	彩	f設学語 の名種		(う	ち外国書〕	〔うちタ	小国書〕	電子ジャ	ァーナル	176465	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	ארואגור אוראור	K 15 A	
						₩	種	〔うちタ	卜国書 〕		点		点点	
図書	バイオ		エンス学	40, 500	0 [7, 600]		70 (5)	1400	[1400]		780		0 0	大学全体の数
· 設		部		(40, 7	11 [7, 536]) (71 [6])	(1,527	(1,527))	(74	7)	(0)	(0)	
備		計		40, 500	0 [7, 600]		70 [5]	1400	[1400]		780		0 0	
				(40, 7	11 [7, 536]) (71 (6))	(1,527	(1,527))	(74	7)	(0)	(0)	
(6) 図	書	Ê	Ė		面	積		閲覧層	座席数		収	納可	能冊数	
						604. 5	3m²			148			63, 889	
(7) 体	育	i ê	Ė		面	積			体育館以	外のスポ	ーツ施	設の概要		
						1, 308. 9	7m²	テニスコ	ート2面			該当な	1	
			区		分	開設年度	完成年月	隻 区	分	開設前	「年度	開設年度	完成年度	
(8)	経	登費の	教員12	人当り	研究費等	500千円	500∃	千円 図書	購入費		31千円 3 0千円	25, 679千 27, 260千		令和4年度の予算額に 修正したため(4)
経費の		積り												
積り及維持方	び 共 同 研法				费等	10,000千円	10, 000∃	千円 設備	購入費	72, 89 68, 5 8	0千円 7 千円	78, 772千 70, 000千	円 72, 200千円 円 70, 000千円	令和4年度の予算額に 修正したため(4)
の概	学生 1 人当 り が 納付金			第	1 年次	第2年次	第	3 年次	第 4 年	F次	第 5	年次	第6年次	
	フロンティア ハ*イオサイエンス学科		1	1,640千円	1, 510=	千円	1,510千円	1, 5	510千円		一 千円	一 千円		
			(1, 6	640千円)	(1,538千円	1) (1,	538千円)	(1, 538	千円)		一 千円	— 千円		
	アニマルハ・イオサイエンス 学科			1	1,640千円	1,5107	千円	1,510千円	1, 5	510千円		一 千円	— 千円	
	r	メデ バイオサイユ		1	1,640千円	1, 510∓	千円	1,510千円	1, 5	510千円		— 千円	— 千円	
		学生	納付金以	外の維持	持方法の概	要補助金	、寄付金、	資産運用!	こより収入	確保を図	図る。			

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、<u>その他の</u> 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 <u>その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入</u>してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	長浜バ	イオ大学	Ż				学生募集停止学科数	1	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数	1	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
バイオサイエンス研究科 博士課程前期課程	2	36	-	72	修士 (パイオサイエンス)	1. 39	1. 47		平成19	滋賀県長浜市 田村町1266	
バイオサイエンス研究科 博士課程後期課程	3	5	-	15	博士 (パイオサイエンス)	0. 20	0. 20		平成19	滋賀県長浜市 田村町1266	
バイオサイエンス学部	4	238	3年次 4	960		0. 68	0. 91		平成15	滋賀県長浜市 田村町1266	
フロンティアバイオサイエンス学科	4	118	4	480	学士 (パイオサイエンス)	0. 89	0. 65		平成15	同上	平成31 名称変更 定員変更(△40)
メディカルバイオサイエンス学科	4	70	-	280	学士 (パイオサイエンス)	0. 83	0. 44	平成31	平成31	同上	
アニマルバイオサイエンス学科	4	50	-	200	学士 (パイオサイエンス)	1. 05	1. 06		平成21	同上	
コンピ゚ュータバイオサイエンス学科	4	-	-	-	学士 (パイオサイエンス)	-	-		平成21	同上	平成31 学生募集 停止(△30)
大学全体		279	4	1047	-	0. 77	0. 94	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている
 - 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。 ・<u>本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください</u>。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

5 教員組織の状況

<バイオサイエンス学部 メディカルバイオサイエンス学科>

(1)一① 担当教員表

【認可]時又	は届出時】	【令和	0元年	度】	【令和	和2年	度】	【令和	13年	度】	[令和]4年	度】
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼日 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専作 兼持 の 5	≘· £	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
		伊藤 正恵 (61) <平成31年4月> 医学博士			伊藤 正恵 (61) 〈平成31年4月〉 医学博士			伊藤 正恵 (62) <平成31年4月> 医学博士			伊藤 正恵 (63) 〈平成31年4月〉 医学博士				伊藤 正恵 (64) <平成31年4月> 医学博士
専	教授	食品衛生学※ 病原ウイルス学 練用門実験IA (医科学系) 湖専門実験IA (医科学系) 湖専門実験IB (創業科学系) 湖専門実験 IB (創業科学系) 以下門実験 IB (創業科学系) 工献調査・講読 卒業研究	専	教授	食品衛生学※ 鎮原ウイルス学 基専門実験 IA(医科学系) 基専門実験 IA(医科学系) 基専門実験 IB(銀築等学 素) 基中門実験 IB(銀業等学 素) 本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学 本学	専	教授	食品衛生学※ 病原ウイルス学 協専門実験 I A (医科学系) 関専門実験 I A (医科学系) 関専門実験 I B (領集科学系) 国専門実験 I B (領集科学系) 工事門実施 I B (領集科学系) 立幹別番 ・講読 卒業研究	専	教授	食品衛生学》、 線原ウイルス学科学系) 林専門実験IA(医科学系) は専門実験IA(医科学系) は専門実験IB(個景科学 系) 基神門実験IB(創業科学 系) 系) 本 新 本 新 本 新 本 が 新 本 が 新 本 が 新 本 が 新 の の の の の の の の の の の の の	1	専	7012	食品衛生学※ 病原ウイルス学 納庫門実験 IA (医科学系) 納庫門実験 IA (医科学系) 地等門実験 IA (医科学系) は等門実験 IB - (無条件学系) 文献調査・講読 卒業研究
		植月 太一 (61) <平成31年4月> 理学博士			植月 太一 (61) <平成31年4月> 理学博士			植月 太一 (62) <平成31年4月> 理学博士			植月 太一 (63) <平成31年4月> 理学博士				植月 太一 (64) <平成31年4月> 理学博士
専	教授	エッセンシャル生物学 I 放射線概論 応用実験 I (微生物系) 応用実験 I (微生物系) 応用実験 I (動植物系) 脳専門実験 I (動植物系) 脳専門実験 I B (飼薬科学系)	專	教授	エッセンシャル生物学 I 放射線生物学 I 放射線生物系) 応用実験 I (微生物系) 応用実験 I (微性物系) 非神実験 I (私性物系) 非神実験 I (私性物系) 非神実験 I A (医科学系) 日然科学基礎実験 I 日然科学基礎実験 I	専	教授	エッセンシャル生物学 I 放射線生物学 K 所用実験 I (微生物系) 応用実験 II (動植物系) 応用実験 II (動植物系) は専門実験 I A (医科学系) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I	専	教授	エッセンシャル生物学 I 放射値生物学 I 放射値生物学 I 依用実験 I (数生物系) 応用実験 I (数性物系) 以時間的系) 以等門実験 I A (基科学系) 以等門実験 I B (創業科学系) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I	1	専		エッセンシャル生物学 I 放射鍵生物学 I 放射鍵生物学 I (微生物系) 応用実験 I (微性物系) 応用実験 I (動植物系)
		川瀬 雅也 (57) <平成31年4月> 工学博士			川瀬 雅也 (57) <平成31年4月> 工学博士			川瀬 雅也 (58) <平成31年4月> 工学博士 応用実験 I (タンパク質系)			川瀬 雅也 (59) <平成31年4月> 工学博士 応用実験 I (タンパク質系)				川瀬 雅也 (60) <平成31年4月> 工学博士 応用実験 I (タンパク質系)
専	教授	応用実験 I (タンパク質系) 工学デザイン概論 化学工学基礎 応用実験 II (タンパク質系) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 II	専	教授	工学デザイン概論 化学工学基礎 応用実験Ⅱ(タンパク質 系) 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 生命倫理・研究倫理※	専	教授	工学デザイン概論 化学工学基礎 化序工学基礎 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I 生命倫理・研究倫理※	専	教授	工学デザイン概論 化学工学基礎 応用実験II(タンパク質系) 自然科学基礎実験I 自然科学基礎実験II 生命倫理・研究倫理※		専		工学デザイン概論 化学工学基礎 応用実験I (タンパク質系) 自然科学基礎実験 I 生命倫理・研究倫理※ 化学基礎
専	教授	佐々木 真一 (48) 〈平成31年4月〉 博士 (理学)	專	教授	佐々木 真一 (48) <平成31年4月> 博士(理学) 応用実験 I (物質系)	専	教授	佐々木 真一 (49) <平成31年4月> 博士(理学) 応用実験 I (物質系)	専	教授	佐々木 真一 (50) <平成31年4月> 博士(理学) 応用実験 I (物質系)	1	専	教授	佐々木 真一 (51) 《平成31年4月》 博士(理学) 応用実験 I (物質系)
,		応用実験 I (物質系) 応用実験Ⅱ (物質系) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I	,	202	応用実験 II (物質系) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 II	,	20.20	応用実験Ⅱ(物質系) 自然科学基礎実験Ⅱ 自然科学基礎実験Ⅱ	,		応用実験Ⅱ(物質系) 自然科学基礎実験Ⅱ 自然科学基礎実験Ⅱ				応用実験Ⅱ(物質系) 自然科学基礎実験Ⅱ 自然科学基礎実験Ⅲ 化学基礎
		永田 宏 (59) <平成31年4月> 博士 (医学)			永田 宏 (59) <平成31年4月> 博士 (医学)			永田 宏 (60) <平成31年4月> 博士 (医学)			永田 宏 (61) <平成31年4月> 博士 (医学)				永田 宏 (62) <平成31年4月> 博士 (医学)
専	教授	医療情報学概論 文献調査・講読 卒業研究	専	教授	医療情報学概論 文献調査・講読 文献調査・講読 ではます。 医用データベース技術 I ※ 医用データベース技術 I ※ 医機のための情報工学概論 I ※ 医機のための情報工学概論 I	専	教授	医療情報学概論 文献調査・講読 卒業研究・講読 卒業研究・タベース技術 I ※ 医用データベース技術 I ※ 医乗のための情報工学概論 I ※ 医療のための情報工学概論 I	専	教授	医療情報学概論 文献調査・講読 医療研究・タベース技術 I ※ 医療データベース技術 I ※ 医療 E ※ 医療のための情報工学報論 I 医療のための情報工学報論 I コンピュータ基礎実習	i	専		医療情報学概論 文献調査・講読 卒業研算・ 展用データベース技術 I ※ 医用データベース技術 I ※ 医機のための情報工学概論 I ※ 医後のための情報工学概論 I ※ コンピュータ基礎実習
		松島 三兒 (66) (高) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)			松島 三兒 (66) (高) <平成31年4月> 修士(経済学) 大学での学びと実践方法I			松島 三兒 (67) (高) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)							
専	教授	大学での学びと実践方法1※ 大学での学びと実践方法1 北景発見・シャーンシップ バイオビジスターンシップ バイオビジスタス概論※ 長浜魅力ビジスタリプロジェクト おうみ学生未来塾 マーケティング戦略の立案 社会との関わりとキャリアパス バイオ産業論	専	教授	人学での学びと実践力法 I 大学での学びと実践方法 I 大学なり、大学なり、 大学なり、 大学なり、 大学なり、 大学ない 大学ない、 大学ない、 大学ない、 大学ない、 大学ない 大学ない 大学ない 大学ない 大学ない 大学ない 大学ない 大学ない	専	教授	大学での学びと実践方法 I ※ 大学での学びと実践方法 II 社風発見インターンシン バイオビジネス 概論※ 長浜魅力づくりブロジェクト おうみ学生未来塾 マーケティンが戦略の立案 社会との関わりとキャリアバス バイオ産業論							

専任・			専任・	I	1	専任·	I			専任・			専任・	1	
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
L		担当授業科目名	L		担当授業科目名	L		担当授業科目名				担当授業科目名	L	L	担当授業科目名
		松島 三兒 (68) 〈平成33年4月〉 修士(経済学)			松島 三兒 (68) 〈平成33年4月〉 修士(経済学)			松島 三兒 (68) < 令和3 年4月> 修士(経済学)							
兼任	講師	大学での学びと実践方法 I ※ 大学での学びと実践方法 II 大学での学びと実践方法 II 社画発見インターンシップ バイナジシネス 概論※ 長浜魅力づくりプロジェクト おうみ学生未来数。 イン・アイング戦略の立案 社会との関わりとキャリアパス バイオ産業論	兼任	講師	大学での学びと実践方法 I ※ 大学での学びと実践方法 I 北	兼任	講師	大学での学びと実践方法 I ※ 大学での学びと実践方法 I 社風発見インターンシップ パイオビガンス・ス概論 長天観力づス・リプロシェクト おうみ学生未整 マーケティング戦略の立案 社会との関わりとキャリアバス パイオ産業論							
											教授	坂井 棒彩 (44) (令和3年4月> 停士(情報学) 大学での学びと実験方法 I ※ 大学での学びと実験方法 I ※ 大学での学びと実施方法 I ※ 大学での学行と実施方法 I ※ 大学での学行と実施方法 I ※ 大学なの関わりとキャリアバス バイオ産業論	*	教授	坂井 伸彩 (4(5) 〈令和3年4月〉 传士(情報学) 大学での学びと実践方法 I ※ 大学での学びと実践方法 I ※ 大学での学びと実践方法 I ※ 大手での学びと実践方法 I ※ 大手での学びと実践が立ている。 大学での学びと実践が立ている。 大学での学びと実践が立ている。 大学での学びと実践が立ている。 大学での学びと表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表
		水上 民夫 (64) (高) 《平成31年4月》 農学博士			水上 民夫 (64) 〈平成31年4月〉 農学博士			水上 民夫 (65) (高) <平成31年4月> 農学博士							
専	教授	バイオビジネス概論※ 創薬科学概論	専	教授	バイオビジネス概論※ 創業科学概論 生命信理・研究信理※ 単等門実験 IB (創業科学 系) 単等門実験 IB (創業科学 系)	専	教授	バイオビジネス概論※ 創業科学概論※ 生命 信理、研究信理※ 以等門実験 IB (創業科学系) 以等門実験 IB (創業科学系)							
専	教授	山本 博章 (65) (高) <平成31年4月> 理学博士	専	教授	山本 博章 (66) (高) <平成31年4月> 理学博士										
		バイオ実験夢チャレンジ I バイオ実験夢チャレンジ II			バイオ実験夢チャレンジ I バイオ実験夢チャレンジ II 生命倫理・研究倫理※ 応用実験 II (物質系)										
						兼任	講師	山本 博章 (67) <令和2年4月> 理学博士		兼任	講師	山本 博章 (68) 〈令和2年4月〉 理学博士	兼任	講師	山本 博章 (69) <令和2年4月> 理学博士
								パイオ実験夢チャレンジI パイオ実験夢チャレンジI 生命倫理・研究倫理※ 応用実験II(物質系)				パイオ実験夢チャレンジI パイオ実験夢チャレンジI 生命倫理・研究倫理※ 応用実験Ⅱ(物質系)			パイオ実験夢チャレンジI パイオ実験夢チャレンジI 生命倫理・研究倫理※ 応用実験I(物質系)
		和田 健之介 (61) 〈平成31年4月〉 修士(※)(理学)			和田 健之介 (62) 〈平成31年4月〉 修士(※)(理学)			和田 健之介 (63) 〈平成31年4月〉 修士(※)(理学)				和田 健之介 (64) 〈平成31年4月〉 修士(※)(理学)			和田 健之介 (65) 〈平成31年4月〉 修士(※)(理学)
専	教授	コンピュータ・グラフィックス 実工 実工 大工知能人門 人工知能の理論と実践 AIロボット製作実習 文献調査・講読 卒業研究	専	教授	コンピュータ・グラフィックス実習 人工知能入門 人工知能入門 は一成一次の理論と実践 日ロボット製作実習 立体影調学 支援 を実研究 サイエンスイノペーション 入門※	専	教授	コンピュータ・グラフィックス 実習 人工知能入門 人工知能の理論と実践 AIロボッリ学 文体就調を、講読 卒業研究・ サイエンスイノベーション入門 ※		専		コンピュータ・グラフィック ス実習 人工知能入門 人工知能の理論と実践 人工ポット製作実習 立体制理等 支体制理等 文本表研究・ サイエンスイノペーション 入門※	專	教授	コンピュータ・グラフィックス 東智 人工知能入門 人工知能の理論と実践 人工知能の理験作実習 立体解調を 等 京 サイエンスイノペーション入門 ※
								環部 智久 (45) <令和2年4月> 博士(理学)				爆部 智久 (46) <令和2年4月> 博士(選挙)			環部 智久 (47) <令和2年4月> 博士(理学)
						*	教授	バイオビジネス概論※ 生命倫理※ 研究倫理※ 創業科学報論※ 非専門実験 IB (創業科学系) 文献開査・課務 平 京歌 日本		*	教授	バイナビジネス概能※ 生命倫理・研究倫理※ 創業科学報館 証券門実験 IB (創業科学 系) 証等門実験 IB (創業科学 系) 文献開査・顕微 卒業研究	*	教授	バイオビジネス概論※ 生命倫理※ 高原科学施 高原科学施 基準門実験IS(高原科学系) 本等門実験IS(高原科学系) 文献開査・課院 卒業研究

東/7		1	 まけ.			181	r . I			 東江.		T		東月 .		T
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専兼兼の	担・任	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	3	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名
		麻生 一枝 (64) (高) <平成31年4月> 理学博士			麻生 一枝 (64) <平成31年4月> 理学博士											
専	准教授	一英一英語版語 與語版語 與語版語 等 英 英 語 版語 等 英 英 語 語 第 三 英 英 語 形 三 英 美 語 形 三 英 三 英 三 英 三 英 三 英 三 五 三 五 三 五 三 五 三 五	専	准教授	英一类語》 第一般語》 一般語》 英文学新語 I 英含学学新語 I 美全學等語 I 美全學等語 I 美全學等語 I 生命會理。 「「「「「「「」」 「」」 「」」 「」」 「」 「											
		麻生 一枝 (65) <平成32年4月> 理学博士			麻生 一枝 (65) <平成32年4月> 理学博士				麻生 一枝 (65) < 令和2 年4月> 理学博士							
兼任	講師	一英語 I I 展 I I I I I I I I I I I I I I I I	兼任	講師	一 競英語 I 英語 B 基語 I 英語 B 基語 I 英語 B 基語 I 英語 B 基 B 基 B 基 B 基 B 基 B B B B B B B B B	₹	東任	講師	一般英語 I 英語 I 英語多數 I 一般英語 I 英語多數 I 一般英語 II 英科李英語 I 其科李英語 I 基本 英文 E I I I I I I I I I I I I I I I I I I							
		岩本 (木原) 昌子 (56) 〈平成31年4月〉 博士 (工学)			岩本 (木原) 昌子 (56) 〈平成31年4月〉 博士 (工学)				岩本(木原) 昌子 (57) 《平成31年4月》 博士(工学)			岩本(木原) 昌子 (58) <平成31年4月> 博士(工学)				岩本 (木原) 昌子 (59) 〈平成31年4月〉 博士 (工学)
専	准教授	大学での学びと実践方法 1 ※ エッセンシャル生化学 I 生物学基礎 建実験 I 服専門実験 I A (医科学系) M専門実験 I B (創業科学系) M専門実験 I B (創業科学系) 文献調査・講談 卒業研究	専	准教授	大学での学びと実践方法 I ※ エッセンシャル生化学 II 生物学基礎 自然科学高機実験 I 服専門実験 I A (医科学系) 服専門実験 I A (医科学系) 服専門実験 I B (創業科学 素) 生物学系 第一次 を表示 主要研究・講読 を実研究・講読 を実研究・		専	准教授	大学での学びと実践方法 I ※ エッセンシャレ生化学 I 生物学基礎 実験 I 経典学基礎 実験 I 経典学基礎 実験 I 経典門実験 I A (医科学系) 経典門実験 I B (領無科学系) 基門実験 I B (領無科学系) 工 放調査・講読 主義研究 I B (京	専	准教授	大学での学びと実験方法 I ※ エッセンシャル生化学 I 生物学基礎 自然科学高雄実験 I A (医科学系) M専門実験 I A (医科学系) M専門実験 I A (医科学系) M専門実験 I B (M を) を		専	准教授	大学での学びと実践方法 1 ※ エッセンシャル生化学 I 生物学基礎 実験 1 6 無科学 基礎 実験 1 6 に 科学系)
		大島 一彦 (52) <平成31年4月> 博士(理学)			大島 一彦 (52) 〈平成31年4月〉 博士 (理学)				大島 一彦 (53) <平成31年4月> 博士 (理学)			大島 一彦 (54) 〈平成31年4月〉 博士 (理学)				大島 一彦 (55) <平成31年4月> 博士(理学)
専	准教授	コース 日本	専	准教授	コンピュータ応用実管 生命情報科学実管 応用実験II(情報系) ゲブル解析学 インシリコ創業基礎実習 進化生物学 インシリコ創業応用実習 文献調査・講読・ 大学での学びと実践方法I ※		専	教授	コンピュータ応用実管生命情報手実習 応用上級第1 (情報系) ゲノンシ物学業基礎実習 近期 (情報系) ゲノンシ物学業基礎実習 近期 (東京) 東京 近期 (東京) 東京 近期 (東京) 東京 大学での学びと実践方法 I ※	專	教授	コンピュータ応用実置 生命機解料学業 応用実験I (情報系) ゲイン化解 (情報系) ゲインと外学 選 (インシリッ学) 選 (インシリッ学) 選 (インシリッ学) 選 (インシリッ学) 選 (インシリッ学) 選 (インシリッ学) 選 (インシリッ学) 選 (インシリッ学) 選 (インシリッ学) 選 (インシリッ学) (インタリッ学) (イン		專	教授	コンピュータが用実響生金情報半実響 応用実験Ⅱ(情報系) ゲノム解コプ学業基礎実習※ 進化セシリコ学 連、単、単、単、単、単、単、単、単、単、単、単、単、単、単、単、単、単、単、単
		亀村 和生 (50) (平成31年4月> 博士 (学術)			亀村 和生 (50) <平成31年4月> 博士(学術)				亀村 和生 (51) 〈平成31年4月〉 博士 (学術)			亀村 和生 (52) <平成31年4月> 博士(学術)				亀村 和生 (53) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
專	准教授	化学基礎 大学での学びと実践方法!※ 来妻学 期毒門実験IA(医科学系) 期毒門実験IB(医科学系) 期毒門実験IB(副業科学系) 取毒門実験IB(創業科学系) 文献調査・講読 卒業研究	専	准教授	化学基礎 大学での学びと実践方法 I ※ ※ 栄養学 M専門実験 I A (医科学系) M専門実験 I B (銀素科学系) 地等円実験 I B (銀素科学系) な事件実験 I B (銀素科学系) な事間で、講談 の主義研究 サイエンスイノベーション 入門※		専	准教授	化学基礎 大学表での学びと実践方法 I ※ 栄養学 製師門実験 I A (医科学系) 観時門実験 I B (超科学系) 国等門実験 I B (超科学系) 工 M	専	教授	化学基礎 大学での学びと実験方法 I ※ ※ 学業学 財本門実験 I A (医科学系) 財専門実験 I B (創業科学系) 財専門実験 I B (創業科学系) 支 財政 で : 講読 マ 文献 別を : 講読 マ 主切 : 対 ストリスイノベーション 入門※		専		化学基礎 大学での学びと実践方法 1 ※ 来養学 期等門実験 1 A (医科学系) 期等門実験 1 B (銀具科学系) 出等門実験 1 B (銀具科学系) 工作別設施 1 B (銀具科学系) 工能調査・講施 学業研究 サイエンスイノベーション入門 ※

亩仁.			害圧・	1	1	w	市任 .	Ī	<u> </u>	1	亩仁.			W 17	. 1	-	
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	ž Ž	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任 兼担 兼任 の別	-	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	└		担当授業科目名	L			担当授業科目名				担当授業科目名	L	1		担当授業科目名
		中村 卓 (47) <平成31年4月> 博士 (工学)			中村 卓 (47) <平成31年4月> 博士 (工学)				中村 卓 (48) <平成31年4月> 博士 (工学)				中村 卓 (49) <平成31年4月> 博士 (工学)				中村 卓 (50) <平成31年4月> 博士 (工学)
專	准教授	大学での学びと実践方法 I ※ 生物工学システム※ 生理活性物質概論 クシパク質工学※ 生体材料工学※ 生体材料工学※ 出専門実験 I A (医科学系) 樹専門実験 I B (創業科学系) 樹専門実験 I B (創業科学系) 大京都調査・講読 平本業研究	専	准教授	大学での学びと実践方法 I ※ 生物工学システム※ 生理活性物質概論 タンパク質工学※ 生体材料工学※ は専門実験 I A (医科学 素) 以等のでは、 (医科学 素) 、(医科学 素) 、(ENT) 、(EN		専	准教授	大学での学びと実践方法 I ※ 生物工学システム※ 生理活性学システム※ 生理活性学と対象質無 シンパク質工学※ 生体材料工学》 基準門実験I A (医科学系) 基準門実験I A (医科学系) 基準門実験I B (創業科学系) 対象門実験 B (創業科学系) 交業課務会。譲続 生産管理システム※		専	准教授	大学での学びと実践方法 I ※ ※ 生物工学システム※ 生理記性物質概論 ランパラ質工学》、 生体材料工学》、 生体材料工学》、 生体材料工学》、 生体材料工学》、 事等門実験 I A (優科学系) 場等門実験 I B 創業科学系) 対応調査・講該 文献認調査・講談 生産管理システム※	專		授	大学での学びと実践方法 1 ※ 生物工学システム※ 生物工学システム※ 生理活性が質概論 タンパク質工学※ 生体材料工学※ 生等門実験エル (医科学系) は専門実験エル (医科学系) は専門実験 18 の創業科学系) 対解門実験 18 (創業科学系) 文本表研究 生産管理システム※
		奈良 篤樹 (46) 《平成31年4月》 博士(理学)			奈良 篤樹 (46) <平成31年4月> 博士(理学)				奈良 篤樹 (47) <平成31年4月> 博士(理学)				奈良 篤樹 (48) 〈平成31年4月〉 博士(理学)				奈良 篤樹 (49) <平成31年4月> 博士 (理学)
専	准教授	化学基礎 タンパク質工学※ な用乗線 I(動植物系) M専門実験 IA (医科学系) M専門実験 IA (医科学系) 文献調査・講読 卒業研究	専	准教授	化学基礎 タンパク質工学 佐用実験 1、他種物系) は専門実験 I A (医科学系) は専門実験 I A (医科学系) は専門実験 I B (制薬科学 系) サイエンスイノペーション 入門級 文献調査・講読		専	准教授	化学基礎 タンパク質工学 佐用実験 1 (動植物系) 超専門実験 1 A (医科学系) 地専門実験 1 B (優邦学系) サイエンスイノベーション入門 ※ 文裁調査・講読 卒業研究		専	准教授	化学基礎 タンパク質工学 を用実験 1 ((((((((((((((((((專		授	化学基礎 タンパク質工学 応用実験 1 (動植物系) 応用実験 1 (動植物系) 総専門実験 1 (医科学系) 総専門実験 1 (医科学系) サイエンスイノベーション入門 ※ 次記調査・講読 卒業研究 エッセンシャル生化学 II
		向井 秀仁 (57) 〈平成31年4月〉 学術博士			向井 秀仁 (57) <平成31年4月> 学術博士				向井 秀仁 (58) 〈平成31年4月〉 学術博士				向井 秀仁 (59) <平成31年4月> 学術博士				向井 秀仁 (60) <平成31年4月> 学術博士
專	准教授	エッセンシャル生化学 I エッセンシャル化学 I ※ 医薬分子機能学 I ※ 医薬分子機能学 (医科学系) 樹専門実験 I A (医科学系) 樹専門実験 I B (創薬科学系) 板専門実験 I B (創薬科学系) 文献調査・講読 卒業研究	専	准教授	エッセンシャル生化学 I エッセンシャルと学 I ※ 医素分子機能学 は専門支験 I A ・医科学 素) 地専門支験 I B (創業科学 系) 地専門支験 I B (創業科学 系) 地専門支験 I B (創業科学 系) が、 対域 ・ 諸続 ・ 諸続 ・ 諸続 ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・		専	教授	エッセンシャル生化学 I エッセンシャル化学 I ※ 医薬分子機・ (医科学系) 国等門突線 I か (医科学系) 極専門突線 B (創業科学系) 大京 (新聞音) 文献調査・講読 マ業研究・ サイエンスイノベーション入門 ※		専	教授	エッセンシャル生化学 I エッセンシャルピード 医薬分子味化学 I 国本門突験 I A (医科学系) 国等門突験 I A (医科学系) M専門突験 I B (創業科学系) M専門突験 I B (創業科学系) 対象制度・講読 卒業研究 サイエンスイノペーション 入門※	専	i 4	教授	エッセンシャル生化学 I エッセンシャル化学 I ※ 医薬分子機能・ (医科学系) 国等門突線 I A (医科学系) 国等門突線 I B (創業科学系) 財産門突線 B (創業科学系) 文献調査・講読
									Olivia Kennedy (43) 〈令和2年4月〉 修士 Canterbury大学				Olivia Kennedy (44) <令和2年4月> 修士 Canterbury大学				Olivia Kennedy (45) 〈令和2年4月〉 修士 Canterbury大学
							*	誹師	一般美語 I 一般美語 I 一般美語 I 一般美語 I 美語 P 晚 I 美語 P 晚 I 科学美語 I 科学美語 I 科学美語 I 海 / 英語 研修		*	講師	一般英語 I 一般英語 I 英語 B B B I 英語 B B I 英語 B B I 科学英語 I 科学英語 I 海 /	*	1	講師	一般英語 I 一般英語 I 英語多談 I 英語多談 I 英語多談 I 科学英語 I 科学英語 I 海外英語研修
		保科 亮 (44) 〈平成31年4月〉 博士 (理学)			保科 亮 (44) 〈平成31年4月〉 博士 (理学)				保科 亮 (45) 〈平成31年4月〉 博士 (理学)				保科 亮 (46) < 平成31年4月 > 博士 (理学) 自然科学基礎実験 I				保科 亮 (47) 〈平成31年4月〉 博士 (理学)
専	助教	自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I 応用実験 II (タンパク質系)	専	助教	自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I 応用実験 I B (創業科学 系) 総専門実験 I B (創業科学 系) 大学での学びと実践方法 I ※		専	助教	自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I 店用実験 II (タンパク電系) は専門実験 IB (創業科学系) は専門実験 IB (創業科学系) 大学での学びと実践方法 I ※		専	助教	日	専	[]	4) TX	自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I お用実験 II (タンパク質系) 該専門実験 IB (創業科学系) 以下門実験 IB (創業科学系) 大門実験 IB (対策 科学系) が用実験 I (タンパク質系)
専	助教	米澤 弘毅 (42) <平成31年4月> 博士 (情報学)	専	助教	米澤 弘毅 (42) <平成31年4月> 博士 (情報学)												
		医用データベース技術 I 医用データベース技術 II			医用データベース技術 I ※ 医用データベース技術 I ※ コンピュータ応用実習												

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 《就任 (予定) 年月> 据有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	•	戦名 .	氏 名 (年 齢) (年 齢) (京任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) (京 (年 齡) (京 (年 (千 年) 年) (宋 (千 年) 年) (宋 (千 年) 年) (田) [東 (1 年) 年)	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 館) 《就任 (予定) 年月 》 (保有学位等 担当授業科目名
					2000 2000 1 1 1 1 1 1 1 1	*	I 財		潜館 裕貴 (33) (33) (33) (33) (34) (34) (35) (35) (44) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	*	助教	潜域 裕貴 (34) (34) (34) (34) (4和2年4月> 博士 (パイオサイエンス) 医用データベース技術 I ※ 医用データベース技術 I ※ コンピュータ応用表質 の用表質 I 情報系) 大学での学びと実践方法 I ※ コンピュータ基礎実置	*	助教	潜域 裕貴 (38) (38) (38) (4年24月) (14) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15) (15
						*	ı ny	物	知名 秀泰 (41) (今和2年4月> 博士 (理学) 大学での学びと実践方法 I ※ 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I 国 (国 国 長 国 国 長 国 長 国 国 長 国 民 国 国 国 国 民 国 国 国 国	*	助轍	知名 秀泰 (42) (42) (43)2年4月> 博士(理学) 大学での学びと実践方法 I ※ 終計学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I ※ (創業科学 ※) 総専門実験 I B (創業科学 ※) た 同実験 I (タンパク質素) 応 用実験 I (タンパク質素)	*	助教	知名 秀泰 (43) 《令和2年4月》 博士 (理学) 大学での学びと実践方法 I ※ 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I 国等円支銀 IB (創業科学系) 応用実験 I (ランパク質素) 応用実験 I (タンパク質素)
兼担	教授 (学 長)	察 晃植 (58) 〈平成31年4月〉 農学博士 データサイエンス入門	兼担	教授 (学 長)	祭 晃植 (58) 〈平成31年4月〉 農学博士 サイエンスイノペーション 入門※	兼	担(效授 (学 €)	祭 晃植 (59) 〈平成31年4月〉 農学博士 サイエンスイノペーション入門 ※	兼担	教授 (学 長)	察 晃植 (60) < 平成31年4月>	兼担	教授 (学 長)	察 晃植 (61) <平成31年4月> 農学博士 サイエンスイノペーション入門 ※ 近江でのSDGsの実験
兼担	教授	字佐美 昭二 (56) 《平成31年4月》 理学博士 応用実験I (DNA系) 応用実験I (DNA系) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I	兼担	教授	字佐美 昭二 (56) 4 (56) 4 (76) 4 (兼	担数		字佐美 昭二 (57) (57) (平成31年4月) 理学博士 応用実験 I (DNA系) 応用実験 I (DNA系) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I	兼担	教授	字佐美昭二 (58) 44月> 平成31年4月> 理学博士 応用実験I(DNA系) 応用実験I機定機度I機定機度 自然科学基礎実験I 自然科学基礎実験I	兼担	教授	字佐美 昭二 (59) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75
兼担	教授	大島 淳 (62) (高) 〈平成31年4月〉 博士 (農学) 基礎微生物学※ 科学技術論 遺伝子工学 インターンシップ実習	兼担	教授	大島 淳 (62) (7年成31年4月> 博士 (農学) 様士 (農学) 基礎微生物学※ 科学技術論 遺伝子工学 インターンシップ実習	兼	担数		大島 淳 (63) 〈平成31年4月〉 博士 (農学) 基礎微生物学※ 科学技術論 遺伝子工学 インターンシップ実習	兼担	教授	大島 淳 (64) (平成31年4月> 博士 (農学) 基礎微生物学※ 科学技術論 遺伝子工学 インターンシップ実習	兼担	教授	大島 淳 (65) 《平成31年4月》 博士 (慶学) 基礎集生物学※ 科学技術論 連品デエ学 大学での学びと実践方法 I ※ バイナ実験夢テャレンジ I バイオ変験 インターンシップ実習
													兼担	准報授	石川 聖人 (00) 《令和4年月》 博士 (工学) 科学技術論 基礎教生物学 遺伝子工学
兼担	教授	河合 請 (755) (平成31年4月) 博士 (理学) エッセンシャル化学 I ※ 安全学 エッセンシャル化学 I ※ 機器分析概論 ※ 有機化学	兼担	教授	河合 靖 (55) 〈平成19年4月〉 博式19年7日 東京19年7日	兼	担数		河合 第 (56) 〈平成31年4月〉 博士(理学) エッセンシャル化学 I ※ 安全学 エッセンシャル化学 I ※ 機器分析概論※ 有機化学	兼担	教授	河合 靖 (57) (57) (77) (77) (77) (77) (77) (77)	兼担	教授	河合 靖 (758) 《平成31年4月》 博士 (理学) エッセンシャル化学 I ※ 安全学 ンャル化学 I ※ 様と が新郷論※ 有機化学
兼担	教授	齊藤 修 (59) 〈平成31年4月〉 理学博士 エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 神経科学	兼担	教授	膏藤 修 (59) <平成31年4月> 理学博士 エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 実験動物学※ 生命倫理※ 荷接科学 佐門実験Ⅰ (動権物系)	兼	担数		齊藤 修 (60) 《平成31年4月> 理学博士 エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 神経科学 佐邦異観 1、動植物系)	兼担	教授	齊藤 修 (61) (平成31年4月) 理学博士 エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 神経科学 成月実験Ⅰ(動植物系)	兼担	教授	齊藤 修 (62) 《平成31年4月> 理学博士 エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 生命倫理 研究倫理※ 神経情学 原用実験! (動植物系)
兼担	教授	白井 剛 (52) 《平成31年4月》 博士 (理学) コンピュータ応用実習 生命情報科学学展議 選 生命情報・研究倫観系 生命情報・研究倫観系 中の共変 リコ創業 がインシリカ制策を用実 関 構造生物学	兼担	教授	白井 剛 (52) 〈平成31年4月〉 情末 (理学) 「また (理学) 「また (理学) 「よた (理学) 「よた (現学) 「よた (現学) 「よた (現実	兼	担 教	対授	白井 剛 (53) 〈平成31年4月〉博士 (782) 「東京31年4月〉博士 (782) 「東京31年4月〉 博士 (782) 「東京31年東晋 生命情報料学東晋 生命倫理、「大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	兼担	教授	白井 剛 (54) (54) (764) (兼担	教授	白井 剛 (55) 〈平成31年4月〉 博士 (理学) コンピュータ応用表習 生命情報科学教育 生命情報科学教育 生命倫理・研究倫理※ 任命倫理・研究倫理※ インシリコ創業応用表習 インシリカ創業を用表習 構造生物学

専任・ 「	
大 名	氏 名 (年 齢) 就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名 担当授業科目名 技	担当授業科目名
	永井 信夫 (57) 《平成31年4月》 博士(理学)
教授 エッセンシャル動物科学 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 動物を理学 薬理学 薬理学 薬担 教授 エッセンシャル動物科学 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 動物を理学 薬理学 薬理学 薬理学 薬担 教授 エッセン・ 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 動物生理学 薬理学 薬理学	物学※ 里・研究倫理※
中村 肇伸 (45) (平成31年4月> 博士(薬学) 中村 肇伸 (46) (平成31年4月> 博士(薬学)	中村 肇伸 (47) <平成31年4月> 博士 (薬学)
大学での学びと実践方法 I ※ 東担 教授	直発生学※ ンスイノペーション入門 理・研究倫理※
野村 慎太郎	
(65) 〈平成31年4月〉 農学博士	
教授 エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 組織学※ 助物生殖発生学※	
博士 (理学)	長谷川 慎 (51) (平成31年4月) 博士 (理学)
生体材料工学※ 生体材料工学※ 生体材料工学※	折概論※ 分子解析学
株 誠 (58) (59) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75	林 誠 (60) <平成31年4月> 農学博士
植物科学概論 植物科学概論 植物科学概論 查伝学表验 ※ 違伝学表	学概論 緊論※ 理・研究倫理※
向 由起夫 (55) <平成31年4月> 工学博士	向 由起夫 (57) <平成31年4月> 工学博士
遠伝学集論※ 遠伝学集論※ 遠伝学集論※ 基礎 微生物学※ 生物工学ンステム※ 生物工学ンステム※	緊急※ 生物学※ 学システム※ 理システム※
吉川 清次 (66) (平成31年4月> 博士(医学)	
医学概論※ 生命倫理·研究倫理※ 病理学※	
医学療論※ 生命倫理・研究倫理※ 病理学※	
大義 義格 (48) (48) (不成31年4月) (45) (45) (45) (45) (45) (45) (45) (45	大森 藝裕 (50) 《平成31年4月》 博士(医学)
遠伝学療論 遠伝学療論 遠伝学療	
大森 藝術	

専任・			専任・	I		専任・	1	1	専任・		T -	専任・	1	1 .
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名		<u> </u>	担当授業科目名	\vdash		担当授業科目名	l	<u> </u>	担当授業科目名
						兼担	教授	小霖 歌明 (59) 〈平成31年4月〉 博士 (医学)	兼担	教授	小雅 歌明 (60) 《平成31年4月》 博士(医学)	兼担	教授	小課 歌明 (61) 〈平成31年4月〉 博士(医学)
								医学概論※			医学概論※			医学概論※
								橋本 統 (52) <令和2年4月> 博士(歓医学)			横本 統 (53) <令和2年4月> 博士(獻医学)			
						兼担	教授	エッセンシャル動物科学※ 生命倫理・研究倫理※ 実験動物学※ 組織学※ 動物生産発生学※	兼担	教授	エッセンシャル動物科学※ 生命倫理・研究倫理※ 実験動物学※ 組織学※ 動物生殖発生学※			
														標本 統 (54) 〈令和4年4月〉 博士(獻医学)
												兼任	講師	エッセンシャル動物科学※ 生命倫理・研究倫理※ 実験動物学※ 組織学※ 動物生産発生学※
兼担	准教	池内 俊貴 (51) <平成31年4月> 博士 (水産学)	兼担	准教	池内 俊貴 (51) <平成31年4月> 博士(水産学)	兼担	准教	池内 俊貴 (52) <平成31年4月> 博士(水産学)						
米担	授	大学での学びと実践方法 I ※ 自然科学基礎実験 II	本担	授	大学での学びと実践方法 I ※ 自然科学基礎実験 I	本担	授	大学での学びと実践方法 I ※ 自然科学基礎実験Ⅱ						
		伊藤 洋志 (46) <平成31年4月> 博士 (人間健康科学)			伊藤 洋志 (46) <平成31年4月>			伊藤 洋志 (47) <平成31年4月>			伊藤 洋志 (48) 〈平成31年4月〉			伊藤 洋志 (49) 〈平成31年4月〉 博士(人間健康科学)
兼担	准教 授	医学概論※ 免疫学※	兼担	准教 授	博士 (人間健康科学) 医学概論※ 免疫学※ サイエンスイノペーション 入門※	兼担	准教 授	博士 (人間健康科学) 医学概論※ 投疫学※ サイエンスイノペーション入門	兼担	准教 授	博士(人間健康科学) 医学概論※ 免疫学※ サイエンスイノペーション 入門※	兼担	准教 授	
		小倉 淳 (43) 〈平成31年4月〉 博士(理学)			小倉 淳 (43) <平成31年4月> 博士(理学)			小倉 淳 (44) 〈平成31年4月〉 博士 (理学)			小倉 淳 (45) <平成31年4月> 博士(理学)			小倉 淳 (46) <平成31年4月> 博士 (理学)
兼担	准教 授	医用データベース技術 I 医療のための情報工学概論 I 生命情報科学概論※	兼担	教授	医用データベース技術上 医療のための情報工学概論 I 生命情報科学概論※ エッセンシャル職物科学※ サイエンスイノベーション 入門※	兼担	教授	医用データベース技術↓ 医療のための情報工学概論 I 生命情報科学概論※ エッセンシャル動物科学※ サイエンスイノベーション入門 ※	兼担	教授	医用データベース技術 I 医療のための情報工学概論 I 生命情報科学概論※ エッセンシール動物科学※ サイエンスイノベーション 入門※	兼担	教授	医用データベース技術 I 医療のための情報で理論 I 生命情報科学概論※ エッセンシャル動物科学※ サイエンスイノベーション入門 ※
		河内 浩行 (51) <平成31年4月> 博士(工学)			河内 浩行 (51) <平成31年4月> 博士(工学)			河内 浩行 (52) 〈平成31年4月〉 博士(工学)			河内 浩行 (53) <平成31年4月> 博士(工学)			河内 浩行 (54) 〈平成31年4月〉 博士(工学)
兼担	准教授	エッセンシャル動物科学※ 大学を助物学※ 大学験動物学※ 食品衛生学※	兼担	准教授	エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法I- ※ 実験動物学※ 食品衛生学※ 生産管理システム※ 自然科学基礎実験 I	兼担	准教授	エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法I※ 実験動物学※ 食品商生学※ 生産管理システム※ 自然科学基礎実験 I	兼担	准教授	エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法 I ※ 実験動物学※ 食品衛生学※ 生産管理システム※ 自然科学基礎実験 I	兼担	教授	エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実施方法 I ※ 実験動物学※ 食品衛生学 生産管理システム※ 自然科学基礎実験 I
	ug ar	小宮 徹 (51) <平成31年4月> 博士(理学)			小宮 徹 (51) <平成31年4月> 博士(理学)		ye w	小宮 徹 (52) 〈平成31年4月〉 博士(理学)		At an	小宮 徹 (53) <平成31年4月> 博士(理学)		- TE MI	小宮 徹 (54) <平成31年4月> 博士(理学)
兼担	准教 授	エッセンシャル生物学Ⅱ 細胞工学 応用実験Ⅱ (動植物系)	兼担	准教授	エッセンシャル生物学Ⅱ 細胞工学 応用実験Ⅱ(動権物系)	兼担	准教授	エッセンシャル生物学Ⅱ 細胞工学 応用実験Ⅱ(動植物系)	兼担	准教 授	エッセンシャル生物学Ⅱ 細胞工学 応用実験Ⅱ(動植物系)	兼担	准教授	エッセンシャル生物学Ⅱ 細胞工学 応用実験Ⅱ (動植物系)
兼担	准教授	西郷 甲矢人 (36) <平成31年4月> 博士(理学) 数理科学 I	兼担	准教授	西郷 甲矢人 (36) 〈平成31年4月〉 博士 (理学) 数理科学 I	兼担	教授	西郷 甲矢人 (37) 〈平成31年4月〉 博士(理学) 数理科学 I	兼担	教授	西郷 甲矢人 (38) <平成31年4月> 博士(理学) 数理科学 I	兼担	教授	西郷 甲矢人 (39) 〈平成31年4月〉 博士(理学) 数理科学 I
		がなける 球形代数学 データ解析学 解析学 数理科学V			線形代数学 データ解析学 解析学 製理科学V			が延行が要 データ解析学 解析学 数理科学 V			級形代数学 データ解析学 解析学 数理科学V			が延行が登 宗一タ解析学 解析学 数理科学 V

West of			We be			We be		1	-	H			alle for		1
専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		担· 任	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		塩生 真史 (44) <平成31年4月> 博士 (理学)			塩生 真史 (44) <平成31年4月> 博士(理学)			塩生 真史 (45) <平成31年4月> 博士 (理学)				塩生 真史 (46) <平成31年4月> 博士 (理学)			塩生 真史 (47) <平成31年4月> 博士(理学)
兼担	准教授	大学での学びと実践方法 I ※ コンピュータ応用実習 牧理科学皿 生命情報科学実習 費用データペース技術 I インシリコ創業必従実習 インシリコ創業必用実習	兼担	准教授	大学での学びと実践方法 I ※ コンピュータ応用実習 生命情報科学実習 生命情報科学、大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	兼担	准教授	大学での学びと実践方法 I ※ コンピュータ応用実習 数理科学Ⅲ 生命情報科学実習 医用データベース技術II インシリコ創業応用実習 サイエンスト データ解析学 応用実験II (情報系) 生命倫理・研究倫理	∄	東担		大学での学びと実験方法 1 ※ ※コンピュータ応用実習 数理の情報子学Ⅲ 生命情報子学書 医用データが表表表示 でシリコ動奏応用実習 インシリコ動奏応用実習 インシリコ動奏応用実習 ゲーク条析学 下一タ条析学 応用実数 (情報系) 生命倫理・研究倫理	兼担	准教授	大学マの学びと実践方法 I ※ コン東大学では、
		高橋 健一 (51) 〈平成31年4月〉 博士(理学)			高橋 健一 (51) 〈平成31年4月〉 博士 (理学)			高橋 健一 (52) 《平成31年4月》 博士(理学)				高橋 健一 (53) <平成31年4月> 博士(理学)			高橋 健一 (54) 《平成31年4月》 博士(理学)
兼担	准教授	大学での学びと実践方法 I ※ エッセンシャル化学 I ※ コンピュータ応用実習 数学基礎演習 I (数分積分) 数理科学 II エッセンシャル化学 II ※ 医用工学概論 医療のための情報工学概論 II	兼担	准教授	大学での学びと実践方法 I ※ エッセンシャル化学 I ※ コンピュータ応用実習 数学基準書 I 「保分積 分) 数理科学 I エッセンシャル化学 I ※ 医用工学概論 基礎のための情報工学振論 は 応用実験 I (情報系) コンピュータ基礎実習	兼担	准教授	大学での学びと実践方法 I ※ エッセンシャル化学 I ※ コッピュータ応用実習 数学基礎演習 I (銀分積分) 数理科学 II エッセンシャル化学 II ※ 医用工学域 E 集のための情報工学域論 I 広用実際 I 「情報系) コンピュータ基礎実習	∄	東担		大学での学びと実践方法 I ※ エッセンシャル化学 I ※ コンピュータ応用実習 教学基準課書 I (像分替 分) 数理科学 II ・ ※ 医用工学概論 歴史のための情報工学振論 II ・ 依用実験 II ・ (情報系) コンピュータ基準表書 コンピュータ基準表書	兼担	准教授	大学での学びと実践方法 I ※ エッセンシャルル学 I ※ コッセンシャルル学 I ※ カンピュータを用実質 数字基準 I (様分積分) 数字 I ※ エッセンシャルル学 II ※ 医垂のため情報工学概論 I で用支軽の情報工学概論 I で用乗取 I (情報系) コンピュータ基礎実習
		竹花 佑介 (40) 〈平成31年4月〉 博士 (理学)			竹花 佑介 (40) <平成31年4月> 博士(理学)			竹花 佑介 (41) 〈平成31年4月〉 博士(理学)				竹花 佑介 (42) <平成31年4月> 博士(理学)			竹花 佑介 (43) <平成31年4月> 博士(理学)
兼担	准教 授	遺伝学概論※ 生命倫理・研究倫理※ 発生生物学 実験動物学※ エッセンシャル動物科学※	兼担	准教 授	遺伝学概論※ 生命倫理・研究倫理※ 発生物学 <mark>※</mark> 実験動物学※ エッセンシャル動物科学※ 多様性生物学振論※	兼担	准教授	連伝学標論※ 生命倫理・研究倫理※ 発生生物学※ 実験動物学※ エッセンシャル動物科学※ 多様性生物学概論※	∄	東担	准教 授	遠伝学標論※ 生命倫理・研究倫理※ 発生生物学※ 実験動物学※ エッセンシャル動物科学※ 多様性生物学振論※	兼担	准教 授	遺伝学標論※ 生命倫理※研究倫理※ 発生生物学※ 実験動物・シャル動物科学※ 多様性生物学級論※
		依田 隆夫 (46) 〈平成31年4月〉 博士 (理学)			依田 隆夫 (46) 〈平成31年4月〉 博士 (理学)			依田 隆夫 (47) 《平成31年4月》 博士(理学)				依田 隆夫 (48) <平成31年4月> 博士 (理学)			依田 隆夫 (49) 《平成31年4月》 博士(理学)
兼担	准教授	大学での学びと実践方法 I ※ コンピュータ応用実習 数理科学II 数理科学IV 生命情報科学実習 応用実験II (情報系) インシリコ創業基礎実習 インシリコ創業の用実習	兼担	准教授	大学での学びと実践方法 I ※コンピュータ応用実習 数理科学I 数理科学P 生命情報科学実習 に用実験I (情報系) インシリコ創業基礎実習 大学シリコ創業を用実習 数学基礎演習I(微分複分)	兼担	准教授	大学での学びと実践方法 I ※ コンピュータ応用実習 数理科学II 数理科学IV 生命情報科学実習 の用実験II (情報系) インシリコ創業基礎実習 インシリコ創業応用実習 数学基礎練習 I ((像分複分)	兼	東担	准教 授	大学での学びと実践方法 I ※ コンピュータ 応用 実習 数理科学 I 数理科学 I 生命情報科学 実習 に情報系) インシリコ創業基礎実習 インシリコ創業を選集者 インシリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカ	兼担	准教授	大学での学びと実践方法 I ※ コンピュータ応用美習 数理科学 I 数理科学 I 数理科学 I 生命情報科学 実習 にインシリコ創業必従来習 ※ インシリコ創業の用業習 ※ 数学基礎演習 I ((((((((((((((((((
		和田 修一 (48) 〈平成31年4月〉 博士 (理学)			和田 修一 (48) <平成31年4月> 博士 (理学)			和田 修一 (49) 〈平成31年4月〉 博士 (理学)				和田 修一 (50) <平成31年4月> 博士 (理学)			和田 修一 (51) 《平成31年4月》 博士(理学)
兼担	准教 授	エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法 I ※ 多様性生物学概論 動物系統分類学	兼担	准教 授	エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法 I ※ 多様性生物学概論 動物系統分類学 自然科学基礎実験 I	兼担	准教 授	エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法 I ※ 多様性生物学概論 動物系統分類学 自然科学基礎実験 I	Ħ	東担	准教 授	エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法 I ※ 多様性生物学概論 動物系統分類学 自然科学基礎実験 I	兼担	准教 授	エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法 I ※ 多様性生物学概論 動物系統分類学 自然科学基礎実験 I
			兼担	准教授	倉林 教 (48) 《平成31年4月》 博士 (理学) エッセンシャル動物科学※ 多様性生物学報論※ 自然科学基礎実験 I	兼担	准教授	倉林 教 (49) 《平成31年4月》 博士(理学) エッセンシャル動物科学※ 多様性生物学薬論※ 自然科学基礎実験 I	*	表担	准報授	倉林 教 (50) 《平成31年4月》 博士 (理学) エッセンシャル動物科学※ 多様性生物学素論※ 自然科学基礎実験!	兼担	准骸授	倉林 教 (51) 《平成31年4月》 博士 (理学) エッセンシャル動物科学※ 多様性生物学類節※ 目然科学基礎契数 1
***	准教	今村(陣田) 綾 (46) <平成31年4月> 博士 (農学)		准教	今村(陣田) 綾 (46) 〈平成31年4月〉 博士 (農学)	茶扣	100 Acr	今村(陣田) 綾 (47) <平成31年4月> 博士 (農学)	-	s to	anti, deze	今村(陣田) 綾 (48) <平成31年4月> 博士 (農学)	** +P		今村(陣田) 綾 (49) <平成31年4月> 博士 (農学)
兼担	授	化学基礎 大学での学びと実践方法 I ※ 応用実験 I (動植物系)	兼担	授	化学基礎 大学での学びと実践方法 I ※ 応用実験 I (動植物系)	兼担	講師	化学基礎 大学での学びと実践方法 I ※ 応用実験 I (動植物系)	Я	東担	講師	化学基礎 大学での学びと実践方法 I ※ 応用実験 I (動植物系)	兼担	講師	化学基礎 大学での学びと実践方法 I ※ 応用実験 I (動植物系)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 館) (年 館) (末 (年 年 館) (年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年 年	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	兼	算任・ 接担・ 接任)別	職名	氏 名 (年 齡) (就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	兼	延任・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・)別	職名	氏 名 (年 齡) (京任 (予定) 年月> (京任 (予定) 年月> 日本 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) (就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼担	講師	高橋 敏宏 (53) (53) (74) (74) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75	兼担	講師	高橋 敏宏 (53) 年4月 > 情報 (学術) (学術) (学術) (学術) (大学での学びと実践方法 I ※ 数学基礎演習 I (基礎解析) 自然研究 基礎課 (大学での学びと実践方法 I ※ 大学での学びと実践方法 I ※ 大学での学びと実践方法 I ※ 大学での学びと実践方法 I ※ 大学での学びと実践方法 I ※ 大学である。	:	兼担	准教授	高橋 敏宏 (54) 年4月> 博士 (54) 年4月> 博士 (学術) 化学基礎 大学での受びと実践方法 I ※ 数学基礎演習 I (基礎解析) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I	***	兼担	准教授	高橋 敏宏 (55) 《平成31年4月》 博士(学術) 化学基礎 大学での学びと実践方法 I ※ 数学基礎演習 I (基礎解析) 自然科学基礎実験 I	兼担	准報授	高橋 敏宏 (56) (平成31年4月> 博士 (学術) 化学基礎 大学での学びと実践方法 I ※ 数学基礎演習 I (基礎解析) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I
										3	兼担	准報授	山本 智志 (56) (今和3年4月> 博士 (医学)	兼担	准報授	山本 哲志 (57) 《令和3年4月》 博士 (医学) 医学療論※
兼担	助教	福崎 優太 (39) (マ平成31年4月> 修士 (バイオサイエンス) 化学基礎 数学基礎演習 I (基礎解析)	兼担	助教	福崎 優太 (40) 《平成31年4月> 修士 (バイオサイエンス) 化学基礎 数学基礎演習 I (基礎解析 大学での学びと実践方法 I ※	:	兼担	助教	福崎 優太 (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41)	1914	兼担	助教	福崎 優太 (42) (平成31年4月> 修士 (バイオサイエンス) 化学基礎 数学基礎演習 I (基礎解析) 大学での学びと興識方法 I ※ 応用実験 I (タンパク質 素) 応用実験 I (タンパク質 素)	兼担	助教	福崎 優太 (43) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47
兼担	助教	池島 (信江 (44) 《平成31年4月》 博士(医学) 自然科学基礎実験 II パイオ実験 I (物質系) 応用実験 I (物質系)	兼担	助教	池島 信江 (44) マ平成31年4月> 博士(医学) 自然科学基礎実験I 自然科学基礎実験I バイオ実験がデャレンジェ 応用実験I(物質系) 応用実験I(物質系)	3	兼担	助教	池島 信江 (45) (45) (45) (45) (45) (45) (45) (45)	3	兼担	助教	池島 信江 (46) 4年4月> 博士 (医学) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I がオ ナ東部ディレンジエ 応用実験 I (物質系)			
		形用关联业(初展末)			パイオ実験夢チャレンジェ	-			バイオ実験夢チャレンジI				パイオ実験事チャレンジI	兼担	助教	今村 比邑志 (39) 〈令和4年4月〉 博士(理学) 学での学びと実践方法 I ※ 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I の用実験 I (物質系) 応用実験 I (物質系)
兼担	助教	神村 麻友 (32) 《平成31年4月> 博士 (バイオサイエンス) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I に タンパク質系)	兼担	助教	神村 麻友 (32) 《平成31年4月> 博士 (バイオサイエンス) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I の用実験 I (タンパク質系) 大学での学びと実践方法 I ※	:	兼担	助教	神村 麻友 (33)年4月> (第1)1年4月> (第1)1年4月> (第1)1年4月> (第2)1年4月> (第2)1年4月> (第2)1年4月> (第2)1年4月 (第2)1年4	197	兼担	助教	神村 麻友 (34) 《平成31年4月> 博士 (バイオサイエンス) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I の用実験 I (タンパク質系) 大学での学びと実践方法 I ※			
兼担		近藤 (桂木) 真干子 (35) (平3:1年4月> 博士 (バイオサイエンス) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I の応用実験 I (動植物系) 応用実験 I (動植物系)	兼担	助教	近藤(桂木) 真千子 (35) (マ元31年4月> 博士(バイオサイエンス) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I を用乗験 I (動植物系) 大学での学びと実践方法 I ※	:	兼担	助教	近藤(桂木)真千子 (36) (36) (37) (37) (37) (37) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (4	33	兼担	助教	近藤(桂木)真千子 (37) (平成31年4月> 博士(バイオサイエンス) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I 医用実験 I (動植物系) 大学での学びと実践方法 I ※	兼担	助教	近藤(桂木) 真千子 (38) 《平成31年4月> 博士 (パイオサイエンス) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 I 使用実験 I (動植物系) 大学での学びと実践方法 I ※
兼担	助教	版上 起世 (44) (平成31年4月> 博士 (パイオサイエンス) 発生生物学	兼担	助教	版上 起世 (44) (平成31年4月> 博士 (パイオサイエンス) 発生生物学 自然科学基礎実験I 応用実験I (助植物系) 大学での学びと実践方法I ※	:	兼担	助教	阪上 起世 (45) マ甲成31年4月> 博士 (バイオサイエンス) 発生生物学 自然科学基礎実験II 応用実験I (影雑物系) 大学での学びと実践方法I※ エッセンシャル動物科学							
					五年 発生				p# ##	3	兼担	助教	田中 調性 (36) (今和3年4月> 博士 (最学) 自然科学基礎実験 I (助植物系) 大学での学びと実践方法 I ※			
			兼担	助教	平井 洋行 (35) (平成31年4月> 博士(パイオサイエンス) 大学での学びと実践方法 I ※	:	兼担	助教	平井 洋行 (36) 〈平成31年4月〉 博士(バイオサイエンス) 大学での学びと実践方法 I ※ 応用実験 I (微生物系)							

専任・ 兼任 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名(年 齡) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
			兼担	助教	古川 岳人 (32) <平成31年4月> 博士(パイオサイエンス) 大学での学びと実践方法 I ※	兼担	助教	方川 岳人 (33) 〈平成31年4月〉 博士(パイオサイエンス) 大学での学びと実践方法 I ※ 応用実験II (動植物系)						
						兼担	助教	佐藤 友人 (32) (32) (72) (73) (74) (74) (74) (74) (74) (74) (74) (74	兼担	助教	佐藤 友人 (32) (32) (32) (33) (34) (37) (37) (37) (37) (37) (37) (37) (37	兼担	助教	佐藤 友人 (33) (33) (33) (34) (37) (37) (37) (37) (37) (37) (37) (37
						兼担	講師	応用実験I (動植物系) 入野 保 (64) 《平成31年4月> 機能学博士			応用実験工(動植物系)			応用実験 11 (助植物系)
									兼任	講師	入野 保 ((5) (4) ((5) (4) ((5) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	兼任	講師	入野 保 (66) (今和34年月> 健康学博士
									兼担	助教	久保 他一 (48) (48) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年) (4年	兼担	助教	久保 億一 (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48)
									兼担	助教	パイオ実験夢チャレンジェ 関本 雅彦 (63) 〈令和3年4月〉 専門学校卒 医学振論※	兼担	助教	関本 雅彦 (64) 〈令和3年4月〉 専門学校卒 医学療論※
									兼担	助教	谷口 健太郎 (32) 〈令和3年4月〉 修士 (人間健康科学) 大学での学びと実践方法 I ※	兼担	助教	谷口 健太郎 (33) (33) (33) (34)
									兼担	助教	宮下 拓也 (34) 《令和3年4月》 修士(生命医科学) 医学振論※ 病理学	兼担	助教	宫下 拓也 (35) 〈令和3年4月〉 修士(生命医科学) 医学振論※ 病理学
兼任	講師	縣 保年 (58) 〈平成31年4月〉 医学博士	兼任	講師	縣 保年 (53) 《平成31年4月》 医学博士	兼任	講師	縣 (吳年 (54) 《平成31年4月》 医学博士	兼任	講師	縣 保年 (55) 《平成31年4月》 医学博士	兼任	講師	縣 保年 (56) 〈平成31年4月〉 医学博士 免疫学※
兼任	講師	池村 淑道 (77) 〈平成31年4月〉 理学博士 パイオ実験夢チャレンジⅡ	兼任	講師	池村 淑道 (78) 《平成31年4月》 理学博士 バイオ実験夢チャレンジI バイオ実験夢チャレンジI	兼任	講師	池村 淑道 (79) 《平成31年4月> 理学博士 バイオ実験夢チャレンジI パイオ実験夢チャレンジI						
兼任	講師	石垣 宏仁 (44) 〈平成31年4月〉 博士(医学) 病理学※	兼任	講師	石垣 宏仁 (44) 《平成31年4月》 博士(医学) 病理学※ 免疫学※	兼任	講師	石垣 宏仁 (45) 〈平成31年4月〉 博士 (医学) 病理学※ 免疫学※	兼任	講師	石垣 宏仁 (46) 《平成31年4月》 博士(医学) 病理学※ 免疫学※	兼任	講師	石垣 宏仁 (47) 《平成31年4月》 博士(医学) 病理学※ 免疫学※

東ゲ			year poor			4 P		ı			T	4 ×		
専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	<u> </u>		担当授業科目名	l		担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 啓介 (49) 〈平成31年4月〉 修士※ (文学) 近江の文化と歴史	兼任	講師	伊藤 啓介 (49) <平成31年4月> 修士※(文学) 近江の文化と歴史	兼任	講師	伊藤 啓介 (50) <平成31年4月> 修士※ (文学) 近江の文化と歴史	兼任	講師	伊藤 啓介 (51) <平成31年4月> 修士※(文学) 近江の文化と歴史	兼任	講師	伊藤 啓介 (52) 〈平成31年4月〉 修士※(文学) 近江の文化と歴史
兼任		伊藤 靖 (54) 〈平成31年4月〉 博士 (医学)	兼任	講師	伊藤 靖 (55) < 平成31年4月 > 博士 (医学) 病理学※	兼任	講師	伊藤 靖 (56) 〈平成31年4月〉 博士 (医学)	- 兼任	講師	伊藤 靖 (57)(今平成31年4月~ 博士 (医学)	兼任	講師	伊藤 靖 (58) < 平成31年4月 > 博士 (医学)
		病理学※			免疫学※ 曹井 学 (55)			免疫学※	$\ \cdot\ $		免疫学※			免疫学※ 普井 学 (58)
			兼任	講師	<平成31年4月> 博士(医学) 免疫学※	兼任	講師	《平成31年4月》 博士 (医学) 免疫学※	兼任	計師	《平成31年4月》 博士(医学) 免疫学※	兼任	講師	<平成31年4月> 博士 (医学) 免疫学※
			兼任	牌師	田中 裕之 (48) 《平成31年4月》 (传士 (医学) 免疫学※	兼任	講師	田中 格之 (49) 〈平成31年4月〉 博士 (医学) 免疫学※	兼任	* **	田中 梅之 (50) 〈平成31年4月〉 博士 (医学) 免疫学※	兼任	講師	田中 格之 (51) 〈平成31年4月〉 博士 (医学) 免疫学※
			兼任	講師	答理 億二 (47) 《平成31年4月》 博士 (医学) 免疫学※	兼任	牌師	谷垣 億二 (48) 〈平成31年4月〉 博士 (医学) 免疫学※	兼任	計解師	谷垣 健二 (49) 〈平成31年4月〉 博士 (医学) 免疫学※	兼任	講師	谷垣 億二 (50) 〈平成31年4月〉 博士 (医学) 免疫学※
			兼任	禁師	寺田 晃士 (47) 〈平成31年4月〉 博士 (医学)	兼任	排師	寺田 晃士 (48) 〈平成31年4月〉 博士(医学)	兼任	: 講師	寺田 見士 (49) 〈平成31年4月〉 博士 (医学)	兼任	鉄師	寺田 見士 (50) 〈平成31年4月〉 博士 (医学)
					免疫学※			免疫学※			免疫学※			免疫学※
									兼任	計算	近藤 健太 (33) <令和3年4月> 博士 (保健学)	兼任	講師	近藤 健太 (34) <令和3年4月> 博士 (保健学)
											免疫学※			免疫学※
			兼任	講師	高吉 條 (72) <平成31年4月> 医学博士									
					医学療論※									
兼任	講師	岸本 正司 (73) <平成31年4月> 教育学修士 法学(日本国憲法)												
			兼任	講師	武蔵勝宏 (57) <平成31年9月> 博士(法学)	兼任	講師	安龍勝宏 (58) 〈平成31年9月〉 博士 (法学)	兼任	· 講師	武蔵勝宏 (59) 〈平成31年9月〉 博士(法学)			
					法学 (日本國憲法)			法学(日本国憲法)	-		法学(日本国憲法)			北村 知史 (41) <令和4年4月> 修士(アメリカ研究)
												兼任	講師	法学(日本国憲法) 現代の政治と社会
兼任	講師	表笠 弥生 (55) <平成31年4月> 修士 (人間・環境学) 科学英語 I TOEIG講座 I TOEIG講座 I	兼任	講師	衣笠 弥生 (55) 〈平成31年4月> 修士 (人間・環境学) 科学英語 I TOEL(御藤上 I TOEL(御藤上 I 一般英語 I 一般英語 I	兼任	講師	表签 弥生 (56) 《平成31年4月》 修士 (人間・環境学) 科学英語 I TOELC開産 I TOELC開産 I 一般英語 I —般英語 I						
									兼任	計解師	Angus Leighton Hall (57) 〈令和3年4月〉 MA (Sports Psychology) (アメリカ)			
											一般英語 I 一般英語 I 科学英語 I 科学英語 I			

専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏名	専任・ 兼担・		氏名	専任 ·		氏 名	専任・ 兼担・		氏名
兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	-		担当授業科目名	-		担当授業科目名	-		担当授業科目名 北條 晚子			担当授業科目名 北條 暁子
									兼白	講師	(42) <令和3年4月> 修士(文学)	₩#	講師	(43) <令和3年4月> 修士(文学)
											一般英語 I 一般英語 II			一般英語 I 一般英語 I
											野澤 和典 (69) <令和3年4月>			
									兼白	講師	(MA in Education) (アメリカ)			
											科学英語 I 科学英語 I			
		京樂 真帆子 (56) <平成31年4月> 博士(文学)			京樂 真帆子 (56) <平成31年4月> 博士 (文学)			京樂 真帆子 (57) 〈平成31年4月〉 博士(文学)			京樂 真帆子 (58) <平成31年4月> 博士 (文学)			京樂 真帆子 (59) 〈平成31年4月〉 博士 (文学)
兼任	講師	日本の歴史と文化	兼任	講師	日本の歴史と文化	兼任	講師	日本の歴史と文化	兼任	講師	日本の歴史と文化	兼任	講師	日本の歴史と文化
		近藤 紀章 (41)	-		近藤 紀章 (41)			近藤 紀章 (42)	┨┝					
兼任	講師	(41) <平成31年4月> 修士(文学)	兼任	講師	(41) <平成31年4月> 修士(文学)	善点	講師	<平成31年4月> 修士(文学)						
AK III	DIES ENIA	おうみ学生未来塾	AK LE	i ota pili	おうみ学生未来塾	*1	. o#s pil/	おうみ学生未来塾						
		榊原 啓子			榊原 啓子			榊原 啓子			榊原 啓子			榊原 啓子
兼任	講師	(65) <平成31年4月> 博士 (学術)	兼任	講師	(66) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	講師	(67) 〈平成31年4月〉 博士(学術)	善点	講師	(68) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	講師	(69) <平成31年4月> 博士(学術)
米丘	明明	科学英語 I 科学英語 I	XI.	6년 Bill	科学英語I 科学英語II 一般英語I	* 1	西田山	科学英語Ⅱ 一般英語Ⅱ 一般英語Ⅱ	- AK LI	- 6 5 50	科学英語 I 科学英語 I 一般英語 I 一般英語 I	XI.	神神	科学英語 I 科学英語 I 一般英語 I 一般英語 I
		塩澤 俊一			一般英語Ⅱ 塩澤 俊一	-		一般英語Ⅱ	┞		一般英語車			一般英語車
兼任	講師	(69) <平成31年4月> 医学博士	兼任	講師	(70) <平成31年4月> 医学博士									
		健康保健学			健康保健学									
								牧野 杜一 (66) <令和2年4月>			牧野 壮一 (67) <令和2年4月>			牧野 杜一 (68) <令和2年4月>
						兼任	神師	極康保健学	兼日	講師	医学博士 健康保健学	兼任	講師	医学博士健康保健学
		四方 朱子	-		四方 朱子			四方 朱子			建原水设于			建果环境于
		(45) 〈平成31年4月〉 修士※(文学)			(45) 〈平成31年4月〉 修士※(文学)			(46) 〈平成31年4月〉 修士※(文学)						
兼任	講師		兼任	講師	一般英語 I 一般英語 I 科学英語 I	兼任	講師	一般英語 I 一般英語 I 和学英語 I						
		一般英語 I 一般英語 I 科学英語 I 科学英語 I			科学英語 II 英会話 I 英会話 I			科学英語 Ⅱ 英会話 Ⅰ 英会話 Ⅱ						
					TOEIC講座 I TOEIC講座 II			TOEIC騰座 I TOEIC騰座 II						
											西根 彰子 (57) <令和3年4月>			西堀 彰子 (58) <令和3年4月>
									,		修士(人間・環境)	# Pr	-	修士 (人間・環境) - 般英語 I 般英語 I-
									無日		一般英語 I 一般英語 I TOEIC講座 I TOEIC講座 I	兼任	講師	一般英語王 科学英語 I 科学英語 I TOEIC講座 I
											英会話 I 英会話 I			TOEIC牌座 I 英会話 I 英会話 I
											中村 満耶 (30) <令和3年4月>			中村 満耶 (31) <令和3年4月>
									兼任	講師	修士 (文学)	兼任	講師	修士 (文学) 一般英語 I
		末岡 加奈子	-						_		英文法 I 英文法 I			英文法 I 英文法 I
兼任	講師	(47) 〈平成31年4月〉 修士※(人間科学)												
K II	DIES ENIT	一般英語 I 一般英語 I												
			Ь	<u> </u>		L		1			1	Ь	1	l

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 館) (末 管) (末 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	•	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (午 齡) 《就任 (予定) 年月》 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	田中 眞 (59) 《平成31年4月> 教育学士 一般英語 I — 般英語 I 英文法 I 其文法 I 其文	兼任	講師	田中 眞 (59) 〈平成31年4月〉 教育学士 一般英語 I 一般英語 I 英次法! I 禁事業 靨 I									
兼任	講師	中山 鉤 (順) 子 (58) 〈平成31年4月〉 文学士 言語表現 I 言語表現 I	兼任	講師	中山 詢(順)子 (59) 《平成31年4月》 文学士 言語表現 I 言語表現 I	兼任	壬 講師	中山 詢 (順) 子 (60) 《平成31年4月》 文学士 言語表現 I 言語表現 I	兼任	: 講師	中山 詢 (順) 子 (61) 〈平成31年4月〉 文学士 言語表現 I 言語表現 I	兼任	講師	中山 詢 (順) 子 (62) <平成31年4月> 文学士 言語表現 I 言語表現 I
兼任	講師	西山 由理花 (31) <平成31年4月> 博士 (法学) 現代の政治と社会	兼任	講師	西山 由理花 (31) <平成31年4月> 博士 (法学) 現代の政治と社会									
						兼任	£ 講師	須川 忠輝 (27) (全和2年4月> 修士(法学) 現代の政治と社会	兼任	講師	須川 忠輝 (28) (今和2年4月〉 修士 (法学) 現代の政治と社会			
兼任	講師	布井 推人 (34) (平成31年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	布井 雅人 (34) 〈平成31年4月〉 博士(教育学) 心理学	兼任	壬 講師	布井 雅人 (35) 《平成31年4月》 博士 (教育学) 心理学						
									兼任	請師	後藤 樂志 (33) 〈令和3年4月〉 修士 (敬青学)	兼任	講師	後藤 県志 (34) <令和3年4月> 修士 (教育学) 心理学
兼任	講師	野部 博子 (73) <平成31年4月> 家政学修士 文学												
			兼任	辦師	中川 智寛 (41) 〈平成31年4月〉 博士 (文学) 文学	兼任	E 講師	中川 智寛 (42) (平成31年4月> 博士 (文学)	兼任	計解師	中川 智寛 (43) 〈平成31年4月〉 博士 (文学)			
												兼任	講師	加藤 憲子 (42) 〈令和4年4月〉 修士 (文学) 文学
兼任	講師	古野 頁 (50) 《平成31年4月》 博士 (文学) 世界史	兼任	講師	古野 黄 (51) 〈平成31年4月〉 博士 (文学) 世界史	兼任	£ 講師	古野 黄 (52) 《平成31年4月》 博士 (文学) 世界史	兼任	講師	古野 責 (53) (下成31年4月> 博士 (文学) 世界史	兼任	講師	古野 賃 (54) <平成31年4月> 博士 (文学) 世界史
兼任	講師	松島 悦子 (64) 〈平成31年4月〉 博士 (社会科学) 社会学	兼任	講師	松島 悦子 (64) 〈平成31年4月〉 博士(社会科学) 社会学	兼任	壬 講師	松島 悦子 (65) 〈平成31年4月〉 博士(社会科学) 社会学						
									兼任	計師	富川 拓 (48) 〈令和3年4月〉 修士 (社会学)	兼任	講師	富川 拓 (49) <令和3年4月> 修士 (社会学)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	•	名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等 担当授業科目名	7	専任・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ り り り り り り り り り り	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	三輪 幸一 (66) 〈平成31年4月〉 工学士 コンピュータ基礎実習 コンピュータ応用実習	兼任	講師	三輪 幸一 (66) <平成31年4月> 工学士 コンピュータ基礎実習 コンピュータを研究書	兼	壬 講	=	三輪 幸一 (67) <平成31年4月> 工学士 コンピュータ基礎実習 コンピュータ応用実置							
兼任	講師	向所 賢一 (49) 《平成31年4月》 博士 (医学)	兼任	講師	向所 賢一 (49) 《平成31年4月》 博士 (医学) 病理学※	兼	王 講		向所 賢一 (50) 《平成31年4月》 博士 (医学) 病理学※	-	兼任	講師	向所 賢一 (51) 《平成31年4月》 博士 (医学) 病理学※			
兼任	講師	森 雅樹 (41) <平成31年4月> 博士 (医学) 病理学※	兼任	講師	森 雅樹 (41) 《平成31年4月》 博士 (医学) 病理学※	兼	壬 講		森 雅樹 (42) 〈平成31年4月〉 博士(医学) 病理学※	_	兼任	講師	森 雅樹 (43) 《平成31年4月》 博士 (医学) 病理学※	兼任	講師	森 雅樹 (44) (平成31年4月》 博士 (医学) 病理学※
			兼任	講師	仲山貴永 (40) <平成31年4月> 博士 (医学) 病理学※	*	注解		仲山貴永 (41) 《平成31年4月》 博士 (医学) 病理学※	-	兼任	講師	仲山貴永 (42) <平成31年4月> 博士 (医学) 劇理学※	兼任	講師	仲山貴永 (43) 〈平成31年4月〉 博士(医学) 病理学※
兼任	講師	森口 稔 (61) <平成31年4月> 修士※(Master of Science) アメリカ 言語表現 I 日本語 I (留学生) 日本語長 II (留学生) 日本語長 II (留学生) 科学英語II (日学英語II (日本語	兼任	講師	森口 を (61) 《平成31年4月> 修士※(Master of Science) アメリカ 富語表現 I 日本語表現 I 日本語表現 I 日本語表現 I 日本語版 I 留学生) 科学英語II 日本語研究 I 日本語の I I 日本語の I I 日本語の I I 日本語の I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	兼	壬 講	E E	森口 稔 (62) (62) (7 (62) (62) (7 (62)	-	兼任		森口 総 (63) < 平成31年4月> 修士※(Master of Science) アメリカ 言語表現 I 日本語 I (留学生) 言語表現 I 日本語 I (留学生) 科学英語 II 日本語 I (留学生) 科学英語 IV	兼任	講師	森口 総 (64) < 平成31年4月>
兼任	講師	安村 惠子 (56) 〈平成31年4月〉 修士※(文学) 哲学	兼任	講師	安村 恵子 (56) 〈平成31年4月〉 修士※ (文学) 哲学	兼	迁 講		安村 惠子 (57) 〈平成31年4月〉 修士※(文学) 哲学		兼任	講師	安村 恵子 (58) 〈平成31年4月〉 修士※ (文学) 哲学	兼任	講師	安村 恵子 (59) <平成31年4月> 修士※(文学) 哲学
兼任	講師	山形 哲夫 (68) <平成31年4月> <u>薬学士</u> 公衆衛生学	兼任	講師	山形 哲天 (68) <平成31年4月> 薬学士 公衆衛生学	兼	迁 講		山形 哲夫 (69) <平成31年4月> <u>薬学士</u> 公衆衛生学		兼任	講師	山形 哲天 (70) <平成31年4月> 薬学士 公衆衛生学			
		TIII TA												兼任	講師	東野 指 (61) 〈令和4年4月〉 董学士 公衆衛生学
兼任	講師	吉川 央治 (53) 〈平成31年4月〉 修士※(経済学) 経済学	兼任	講師	吉川 失治 (53) (53) 《平成31年4月》 修士※(経済学) 経済学			-								48 49
						兼			井手 一郎 (61) 〈令和21年4月〉 修士(経済学) 経済学		兼任	講師	井手 一郎 (62) 《令和21年4月》 修士 (経済学) 経済学	兼任	講師	井平 一郎 (63) 〈令和21年4月〉 修士 (経済学) 経済学
兼任	講師	和田 佳子 (61) 〈平成31年4月〉 博士 (医学) コンピュータ・グラフィックス 実習 九工知能の理論と実践 AIロボット製作実習 立体解剖学	兼任	講師	和田 佳子 (61) (マ成22年9月) 博士 (医学) コンピュータ・グラフィッ クス表書 人工知能の理論と実践 4.1ロボット製作実書 立体解剖学	兼	壬 講	5	和田 佳子 (62) (F2) (F2) (F2) (F3) (F3) (F3) (F3) (F3) (F3) (F3) (F3		兼任		和田 佳子 (63) マ東22年9月> 博士 (医学) コンピュータ・グラフィッ クス実書 人工知能の理論と実践 ムーロボット製作実置 立体解剖学	兼任		和田 佳子 (64) (平成22年9月> 博士 (医学) マンピュータ・グラフィックス 楽響 人工知能入門 人工知能の理論と実践 ムーロボット製作実響 立体解剖学

⁽注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)・ 認可申請者又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の数員全て (兼任、東担教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**限可教又は届出時から変更となっている首所は大学の表学としてください。**・ 各概の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- 年齢は、**生れぞれの年度の5月1日時点の漢年態**を記入してください。
- 専任 (専門職大学等は専、実専、実・(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

【令和元年度】

- ・昇任審査に基づく審査により、小倉淳准教授は教授に変更。
 ・より専門的で幅広い知識を学生に教授するため「エッセンシャル動物科学※」「多様性生物学概論※」「自然科学基礎実験 I 」に兼担の倉林敦准教授を担当者に追加。
 ・昇任審査に基づく審査により助教に昇任した平井洋行助教、古川岳人助教を兼担として担当者に追加。
 ・専門的知識と技術を効果的に教授するために、高宮脩講師、菅井学講師、田中裕之講師、谷垣健二講師、寺田晃士講師、仲山貴永講師を担当者追加。
 ・ 岸部は一直講師辞任により、武蔵勝宏講師に変更。
 ・野部博子講師辞任により、中川智宮講師に変更。

- 自己都合により、末岡加奈子講師が辞任。 自己都合により、和田佳子講師の就任が、平成31年4月から令和2年9月に変更。

【今和2年度】

【令和3年度】

- 【令和3年度】
 昇任審査に基づく審査により、亀村和生准教授が教授に変更。
 専門約知識と技術を効果的に教授するため、コンピュータ基礎実習 に永田宏教授、岩崎裕貴助教を追加
 松島三兒教授が任期満了により退職し、坂井伸彰教授が着任。
 「大学での学びと実践方法I」「大学での学びと実践方法I」「社風発見インターンシップ」「バイオビジネス概論」「長浜魅力づくりプロジェクト」「おうみ学生未来塾」でイーケティング戦略の立案」「社会との関わりとキャリアパス」「バイオ産業論」を担当。
 任期満了により、専任教員の水上民夫教授が退職し、「前線科学概論」について堀部智久教授が単邦で担当。
 学生により近い年齢層の教員から、大学での学び方をより学生にとって理解しやすく教授するため、「大学での学びと実践方法I」の担当教員を専任教員の大島一彦教授、亀村和生教授、当本昌子准教授、中村卓准教授、兼担の中村肇仲教授、池内俊貴准教授、塩生真史准教授、高橋健一准教授、依田隆夫准教授がら、専任教員の当体持動的教人、更保し申し助教へ変更。
 昇任審査に基づく審査により助教に昇任した今口健太郎助教を兼担として「大学での学びと実践方法I」担当者に追加。
 自己都合により、麻生一技講師、衣笠弥生講師の四大名画作成が発行。「一般英語I」「和学英語I」の担当を神原を子講師、内泉は当時が任任。
 「一般英語I」「一般英語II」の担当を神原を子講師、Angus Leighton Hall講師、北條暁子講師に変更。
 「英文法II」「英文法II」の担当を神原を子講師、Angus Leighton Hall講師、野澤和典講師に変更。
 「英文法II」「英文法II」の担当を神原を子講師、Angus Leighton Hall講師、野澤和典講師に変更。
 「英文法II」「英文法II」の担当を神原を子講師に変更。
 「英文法II」「英文法II」の担当を神原を子講師に変更。
 「英文法II」「英文法II」の担当を神原を子講師に変更。
 「英会話II」「「英会話II」「10Eに講座II」の担当を西堀彰子講師に変更。
 「英会話II」「「英会話II」「10Eに講座II」「10Eに講座II」の担当を西堀彰子講師に変更。
 「英の話」「「大会話II」「10Eに講座II」の担当を西堀彰子講師に変更。
 「英会話II」「「表話II」の担当をあるめ、「応用実験I(タンパク質系)」「「本用実験II(タンパク質系)」「に専任の保利系的教、知名秀泰助教、発見格教授が担当。
 第250名の記録をもから記録をおいました。

- 「近江でのSDGsの実践」をSDGsとは何かを学び、SDGsで掲げる17個の目標とその目標達成への実践例なども学ぶために新規科目として開設し、兼担の祭児権教授が担当。
 根別標準は、り野村慎太郎教授が退職。
 自己都合により、兼担の吉川清次教授が辞任し、兼任・講師となり、兼担として山本哲志准教授が着任し、「医学概論」を担当。より専門的で幅広い知識を学生に教授するため、兼担の山本哲志准教授、関本雅彦助教、宮下拓也助教を「医学概論」に追加任期満了により、兼担の版上起世助授。古川岳人助教、平井洋行助教が退職し、田中照性動教、久保健一助教が着任し、「自然科学基礎実験I」を担当。久保健・助教は「自然科学基礎実験I」「応用実験I (物質系)」「応用実験I (物質系)」「たついても担当。「バイオ実験チャレンジII」「の担当者を、兼担の池島信江助教から久保健一助教へ担当を変更。定年退職により、兼担の入野保講師が兼任の講師に着任し、兼担として宮下拓也助教が着任。自己都合により、兼担の市川清文教授が辞任したため、兼担の宮下拓也助教に「病理学」の担当者を変更。任期満了により、素任の近郊が退職。より専門的で幅広い知識を学生に教授するため、兼任の近郊健康等を「免疫学」を担当者に追加。「社会学」担当の布お雅人講師が自己都合により辞任し、後藤崇志講師に変更。「社会学」担当の本部規入講師が自己都合により辞任し、後藤崇志講師に変更。自己都合により、兼任の近藤紀末講師が自己都合により辞任し、後藤崇志講師に変更。自己都合により、兼任の近藤紀末講師が自己都合により辞任し、富川拓講師に変更。自己都合により、兼任の近藤紀末講師が辞任。

- 【令和4年度】
- ・昇任審査に基づく審査により、河内浩行准教授(兼担)が教授に変更。 ・より専門的で幅広い知識を学生に教授するため「化学基礎」について専任の亀村和生教授、専任の奈良篤樹准教授から専任の川瀬雅也教授、専任の佐々木真一教授へ担当者を

- ・より専门的で幅広い知識を子生に教授するため「オプタウコ耐楽的用失き」に来述の塩生臭文准教授を担当名に返加し、「オプタウコ耐楽を使失き」「イプタウコ耐楽の出発 ・石川聖人准教授が着任し「基礎微生物学」「科学技術論」「遺伝子工学」を担当。これに伴い兼担の大島淳教授の担当を「基礎微生物学」「科学技術論」「遺伝子工学」から 「大学での学びと実践方法」」「バイオ実験夢チャレンジI」「バイオ実験夢チャレンジI」へ変更。 ・より専門的で幅広い知識を学生に教授するため「バイオ産業論」の担当教員を専任の坂井伸彰教授から兼担の大島淳教授へ変更。 ・「発生生物学」担当から兼担の中村鞏伸教授が外れて、兼担の竹花佑介准教授が単独で担当。 ・今村比呂志助教が着任し「大学での学びと実践方法 I」「自然科学基礎実験I」「自然科学基礎実験I」「応用実験I(物質系)」「応用実験I(物質系)」「応用実験I(物質系)」を担当。 ・専門知識と技術を効果的に教授するため「医学概論」に兼担の谷口健太郎助教を担当者に追加。 ・より専門的で幅広い知識を学生に教授するため「医学概論」に兼担の谷口健太郎助教を担当者に追加。 ・より専門的で幅広い知識を学生に教授するため「大学での学びと実践方法 I」の担当教員を、兼担の今村(陣田)綾講師、兼担の神村麻友助教から兼担の大島淳教授へ変更。 ・「法学(日本国憲法)」担当の武剛勝宏講師が自己都合により辞任し、北村知史講師に変更。 ・「現代の政治と社会」担当の須川忠輝講師が自己都合により辞任し、北村知史講師に変更。 ・「文学」担当の中川智賞講師が自己都合により辞任し、加藤本子講師に変更。 ・「公学、相当の中川智賞講師が自己都合により辞任し、加藤本子講師に変更。 ・「公学、相当の中川智賞講師が自己都合により辞任し、加藤本子講師に変更。 ・「公衆衛生学」担当の山形哲夫講師が自己都合により辞任し、東野浩講師に変更。

- 。 自己都合により、兼担の橋本統教授が辞任し、兼任・講師に変更。 自己都合により、兼担の田中照佳助教が辞任。 任期海アにより、兼担の池島信正助教が辞任。 自己都合により「病理学」担当の兼任の向所受一講師が辞任。 自己都合により「病理学」担当の兼任の向所受一講師が辞任。 自己都合により「自然科学基礎実験」」「自然科学基礎実験Ⅱ」「応用実験Ⅰ(タンパク質系)」「大学での学びと実践方法Ⅰ」担当から兼担の神村麻友助教が外れる。 自己都合により「医学概論」「生命倫理・研究倫理」担当から兼任の吉川清次講師が外れる。
- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 **鑑可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し

 - 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

- (注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。
 - (2) 一② 専任教員等数【大学】

		設置時	の計画				:	現在(報告	時)の状況		
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
8	6	0	2	16	4	11	3	1	3	18	4
(9)	(7)	(0)	(2)	(18)	(4)						
	現在(報告時)の	完成年度時	が状況			現在(報告時)の	完成年度時	の計画	
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C ')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
11	3	1	3	18	4	11	3	1	3	18	4
[3]	[△3]	[1]	[1]	[2]	[-]	[3]	[△3]	[1]	[1]	[2]	[-]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、翌可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、 教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、 「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を配入</u>するとともに、
 - <u>「娘任(戦告時)の状況」に配入した数字に、完成年度までに航任することが決定している数員数を加えた数を配入</u>するとともに []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 - (2) ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = 18 設置時の計画(A) = 112.5 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = 0 現在(報告時)の状況(B) 96

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') = 4 100 9% 設置時の計画(A') = 100 9%

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員	氏名	時期	必修・選択・自由	1091	担当予定科目	1	後任:	補充状法	兄	京	优任辞证	【未	就任) の理	由	
-																			
-								+											
								+											
					合計	(D)							後	长任補充状況	の集計	(E))		
	京	た 任 :	を辞	退した教員	数	担当科目	数の合計	† (a) +	+ (b) + (c)	1	の合計	数(a)		②の合計	十数 (b)		③の合計	†数(c)
						必	修	0	科目	必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			•			選	択	0	科目	選	梑	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0		人	自	由	0	科目	自	由	0	科目	由自	0	科目	自由	0	科目
						Ī	†	0	科目	Ī	it .	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
 - 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教	員氏名	時期	必修・選択・自由の	担当	当予定科 目	後	任補充			舒	任等	の理由		
					選択	医用デー	-タベース技術	jI *	1							
1	助教	米澤	弘毅	R2. 3	選択	医用デー	タベース技術	jΙ*	1		R2. 3. 3	1付け自	己都	合のため辞信	£ (2)	
					必修	コンピ	ュータ応用	実習	1							
			合計	(F)						ŧ	後任補充状 沥	の集計	(G)	1		
	辞任l	した教員数	ţ	担当科目	目数の合計	(a) + (l	o) + (c)	①の台	計数(a)	②の合計	十数 (b))	③の合計	├数 (c)
				必	修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
				選	択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	1		,	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				Ī	i l	3	科目	計	3	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、<u>定年による退職以外の理由で辞任した全ての事任教員について</u>に記入してください。
 - · 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -①・ (3) -② の合計

	合計(D) + (F)				後任神	前充状況の集	計(E)+	(G)	
辞任等した教	員数	担当科目数の合	† (a) +	(b) + (c)	①の合計	ł数(a)	②の合計	十数 (b)	③の合計	†数 (c)
		必修	1	科目	必修	1 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	2	科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
1	Α	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	3	科目	計	3 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2)-②設置時の計画(A) =

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (3) 一⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注)・(3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状	況		辞任等の	理由			
1	教授	山本 博章	必修	生命倫理・研究倫理※	1		H31.3.31付け65歳で定年退職(元)					
			選択	バイオ実験夢チャレンジ I バイオ実験夢チャレンジ II	2							
			必修	応用実験Ⅱ (物質系)	1]					
	教授		選択	バイオビジネス概論※	1							
2			選択	創薬科学概論	1							
		水上 民夫	必修	生命倫理・研究倫理※)		R2. 3. 31付け65歳で定年退職(2)			2)		
			必修	M専門実験 IB (創業科学系)	1							
			必修	M専門実験ⅡB(創薬科学系)	1							
	准教授		必修	一般英語 I	1							
			必修	一般英語Ⅱ	1							
		准 数坪	准粉坪		麻生 一枝	必修	科学英語 I	1				
3				准数坪		必修	科学英語 Ⅱ	① R2 3 31	31付け65歳で定年退職 (2)			
		MT 10	必修	生命倫理・研究倫理	1		12. 5. 511117 / 55 mg C / P / 12 mg (2 /			<i>'</i>		
			選択	英語多読I	1							
			選択	英語多読Ⅱ	1							
			自由	海外英語研修	1							
	合計				後任補充状況の集計							
辞任した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c))					
3		必修 10		10 科目	必修	10 科目	必修	0 科目	必修	0	科目	
			選択	6 科目	選択	4 科目	選択	2 科目	選択	0	科目	
		Α.	自由	1 科目	自由	1 科目	自由	0 科目	自由	0	科目	
			計	17 科目	計	15 科目	計	2 科目	計	0	科目	

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

山本博章氏は、専門的な知見を有しているので、引き続き、兼任教員(職位:講師)として「パイオ実験夢チャレンジI」、「パイオ実験夢チャレンジI」を担当している。 学生には、WEBシラパスで周知している。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
課 可 時 	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数のらことが明確の趣旨を踏らまえた。 規程の趣旨を踏るととでいる。 規程の趣旨を踏るととのでは、教員組織を関いて、教員組織を関すると、 構想について検討すること。	遵守事項	平成31年4月からの開設のため今年度は実施しておりません。但し、現在新規教員を採用することを検討しています。	履行中	平成31年4月からの開設の ため今年度は実施しており ません。但し、現在新規教 員を採用することを検討し ています。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和元年)					
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年)					
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年)					

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<バイオサイエンス学部 メディカルバイオサイエンス学科>

(1) 設置計画変更事項等

	設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし		

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

(設置目的)

第1条 長浜バイオ大学(以下「本学」という。)バイオサイエンス学部における教育・研究の質向上を図るために、ファカルティー・ディベロップメント(以下「FD」という。)委員会を設置する。

(委員会)

第2条 委員会は、学長が指名する若干名の委員をもって組織する。

2 本委員会のもとに小委員会を置くことができる。

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置き、学長が委員の中から指名する。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(任 務)

第4条 委員会は、全学的な教育・研究の能力向上、その他教育改善を図るため、次に掲げる事項を審議し、 FDを推進する。

- (1) FD推進のための企画および実施に関すること
- (2) FDに関する記録および報告書等の作成に関すること
- (3) 大学が取り組む教育改善に関する講演会、シンポジューム等の支援に関すること
- (4) FDに関する自己点検・評価に関すること
- (5) その他 F D に関して委員会が必要と認めた事項

(任期)

第5条 第2条第1項の委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

(事 務)

第6条 委員会の事務は、関連部課の協力を得て学生教育推進機構事務室教務担当が担当する。

(その他)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(改 廃)

第8条 この規程の改廃は、委員会の議を経て、学長が行う。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

本学における学部FD委員会の開催については、年度初(4月下旬~5月上旬)の開催を原則としている。主な審議事項としては、前年度決算報告と当年度予算審議、当年度FD取組方針審議と前年度活動総括、および当該年度活動予定の審議である。それ以降は、年間で2~3回開催し、教育・研究の質向上を図る企画を検討、実行している。

- c 委員会の審議事項等
- (1) FD推進のための企画および実施に関すること
- (2) FDに関する記録および報告書等の作成に関すること
- (3) 大学が取り組む教育改善に関する講演会、シンポジューム等の支援に関すること
- (4) FDに関する自己点検・評価に関すること
- (5) その他FDに関して委員会が必要と認めた事項

② 実施状況

- a 実施内容
- ・F Dに関する記録および報告書等の作成に関すること 大学の学園通信「めいこうに活動報告を記載
- ・大学が取り組む教育改善に関する講演会、シンポジューム等の支援に関すること 大学内情報システム「デスクネッツ」に講演会、シンポジューム等の情報提供
- (1) 関西地区FD連絡協議会に加盟して、他大学等のFD関連セミナーの開催情報の提供を受け、全教職員の参加促進を図っている。参加者にはセミナー報告書と参加時の資料の提出を義務付け、報告書と資料を本学図書情報センターの閲覧コーナーに展示し、教職員の閲覧に供している。
- (2) 他大学等のFDの取り組みの中で、本学の教学改善に参考とすべきものについては外部講師を招聘し、講演会形式による学部ならびに大学院FD研修会を開催する機会を設け、講演内容をFD委員会ならびに教学関連委員会において議論し、次年度以降の教学改善に繋げる方策を取っている。
- (3) 研修会の内容等を参加教員だけでなく全教員が共有するために、研修会報告・感想、研修内容の活用例等を学内 WEB上に公開する。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
- 1. 学内 F D 研修会の開催

2021年度は新型コロナウイルス感染防止のためオンライン形式で下記研修会を実施した。

①2021年7月6日 (火) 「manaba、Teams、私の使い方」

長浜バイオ大学 准教授 高橋敏宏 氏 参加教員数:63名

②2021年9月9日(木)「コロナ禍におけるメディアを利用した授業、学会、会議等における教材作成法」 大阪大学 全学教育推進機構教育学習支援部・特任研究員 権藤千恵氏

参加教員数:33名

- 2. びわ湖東北部地域連携協議会主催のFD・SD研修会開催
 - ③2021年9月15日(水) 「データサイエンス教育の展望~あらゆる学問・あらゆる産業への展開を目指して~」 お茶の水女子大学 理学部教授 文理融合AI・データサイエンスセンター長 伊藤貴之氏 参加教員数:6名
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

上記学部FD研修会を経て①②に関しては、コロナ禍の中、WEB動画配信授業作成時の留意点、大学で利用している「manaba」「Teams」の使い方と学生の反応、学習効果・教育効果の高い双方向型講義に近づけていくためのアイディア、配信講義のコンテンツ作成に役立つ情報を教わり、今後の教育改善の参考になった。また、③に関しては、データサイエンスの概念と実用事例を教わり、今後のデータサイエンスを用いた教育について意見を交わした。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

授業の最終回に実施(前期セメスター7月末)、後期セメスタ(1月末) 年2回実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生には、学内ホームページに公開している。教員に対しては、メール、pdf等でアンケート結果を周知して いる。

教務委員会では、学生の成績評価と授業アンケートから、極端に学生の理解度が低く不合格者が多い科目 に関し、担当教員に対してヒアリングを行い、問題があれば改善を提言する活動を行なっている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。 (記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。) 「該当なし」

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

「該当なし」

c 委員会の審議事項等

「該当なし」

d その他

「該当なし」

- ② 審議状況
 - a 審議した内容

記入例)

- 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容 「該当なし」
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況 「該当なし」
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況 「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
入試定員70名に対し、令和4年度入試では、延べ志願者408(志願倍率5.82倍)と開設以降連続して高い志願倍率が続いている。このことからも、この学科に大きな期待が寄せられていることがわかる。
 ② 自己点検・評価報告書

 公表(予定)時期
 ・令和6年5月1日 公表

 b 公表方法

 ・大学ホームページ上に公開予定(令和6年5月末を予定)

 ③ 認証評価を受ける計画(専門職大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

・令和5年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受けるべく、学内で検討中

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

〇 設置計画履行状況報告書(令和4年度)							
а	公表予定の有無	[有 · 無]					
≪ a '	で「有」の場合≫						
b	公表(予定)時期	[調査結果公表後 1 ヶ月以内 ・ 公表後 2 ~ 3 ヶ月以内 ・ 公表後 3 ヶ月以降)				
С	公表方法	[ウェブサイトへの掲載 ・ その他()				
≪ a '	で公表「無」の場合≫	,					
d	公表しない理由	[)				

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。